MS341－28054/5
GRフロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はGRフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、 取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、 正しい取り付け、 取り扱いを実施してください。
なお、 本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、 取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	型 式	年 式	備 考
MS341-28054-A0	ﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ(070)	ヴォクシー	MZRA9#W ZWR9#W	’22.1～	
MS341-28054-A1	ﾌﾟﾗﾁﾅﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙﾏｲｶ(089)				
MS341-28054-C0	ｱﾃｨﾁｭｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｸﾏｲｶ(218)				
MS341-28055-NP	未塗装品				

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 https://www.trdparts.jp/

■ 構成部品

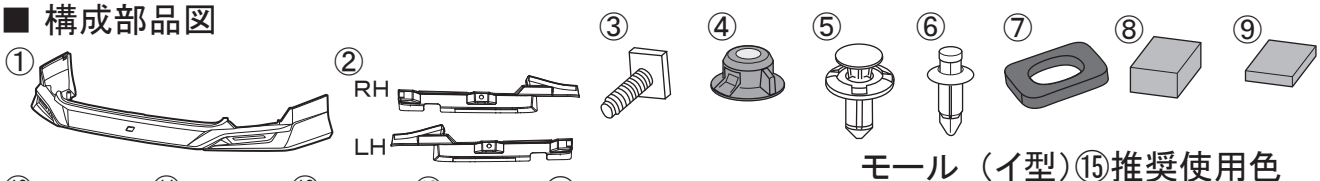
No.	品　名	個数	備考
①	フロントスポイラー	1	
②	別ピース（RH/LH）	各1	
③	スクエアヘッドボルト	2	
④	クリップナット	2	
⑤	クリップA	2	
⑥	クリップB	2	
⑦	ゴムワッシャー	2	
⑧	クッションA	2	t=5.0
⑨	クッションB	4	t=1.0
⑩	ハーネスキット	1	小袋
⑪	型紙	1	
⑫	PACプライマー（赤袋）	1	N-200相当
⑬	PACプライマー（青袋）	1	K-500
⑭	取付・取扱要領書	1	本書

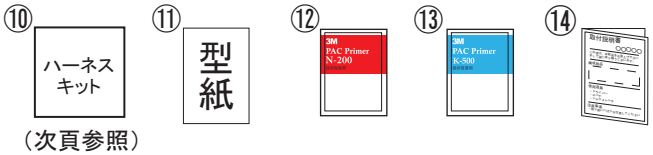
以下、 MS341-28055-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	品　名	個数	備考
⑮	モール（イ型）	各1	黒 : L=600 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ: L=1100
⑯	モール（L型）	1	黒 :L=800
⑰	エンブレム	1	
⑱	マスキングテープA（RH/LH 共通）、B（RH/LH）	各1	
⑲	LEDランプ（RH/LH）	各1	
⑳	キャップボルト	8	3×8
㉑	エプトシーラー	1	

※確認・本商品が到着後、 すぐに本体に破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。

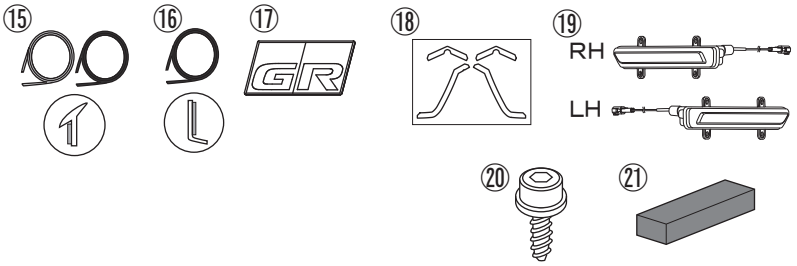
■ 構成部品図





（次頁参照）

以下、 MS341-28055-NP（未塗装品セット）のみに同梱



モール（イ型）⑮推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ（070）	ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ
ﾌﾟﾗﾁﾅﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙﾏｲｶ(089)	ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ
ﾒﾀﾙｽﾄｰﾑﾒﾀﾘｯｸ（1K0）	ﾌﾞﾗｯｸ
ﾏｯｼﾌﾞｸﾞﾚｰ（1L6）	ﾌﾞﾗｯｸ
ｱﾃｨﾁｭｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｸﾏｲｶ（218）	ﾌﾞﾗｯｸ
ｽﾊﾟｰｸﾘﾝｸﾞﾌﾞﾗｯｸﾊﾟｰﾙ ｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ（220）	ﾌﾞﾗｯｸ
ｸﾞﾘｯﾀｰﾌﾞﾗｯｸｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ（226）	ﾌﾞﾗｯｸ
ﾚｯﾄﾞﾏｲｶ ﾒﾀﾘｯｸ（3R3）	ﾌﾞﾗｯｸ
ｽﾃｨｰﾙﾌﾞﾛﾝﾄﾞﾒﾀﾘｯｸ（4X1）	ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ

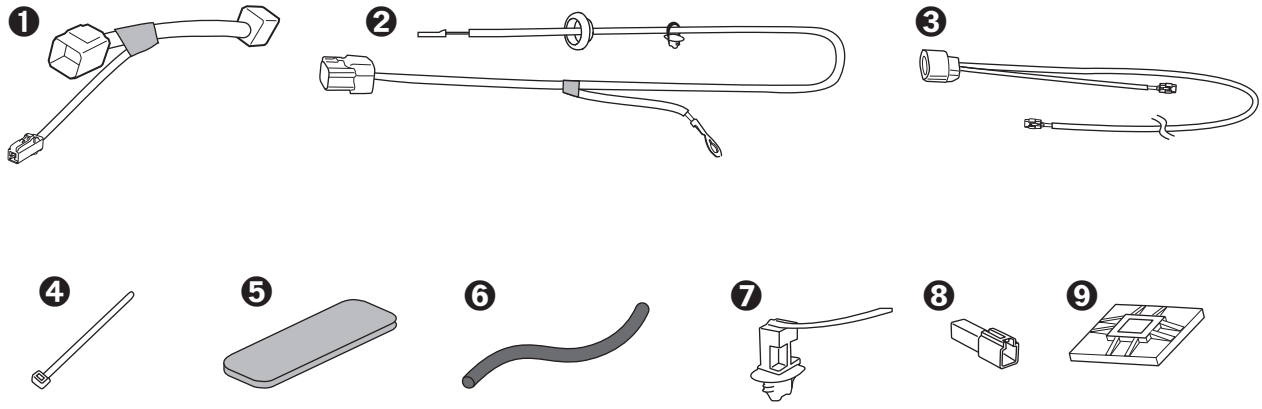
⑩ハーネスキット

■ ⑩LEDデイタイムランプキット構成部品一覧

No.	品　名	個数	備考
❶	ハーネスA	1	車内用
❷	ハーネスB	1	エンジンルーム用
❸	ハーネスC	1	バンパー裏側用
❹	結束バンド	23	L＝150
❺	クッション	6	100×50
❻	コルゲートチューブ	2	φ5　L＝170
❼	押し込みクランプ	2	
❽	コネクター	1	
❾	結束バンドベース	1	

※確認・本商品が到着後、 すぐに本体に破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。
※上記品番は補給品版ではありません。LEDデイタイムランプの単品補給はありません。

■ 構成部品図



取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　**❗ 必ず行なっていただくこと**

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。

❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取り付けが終わったら

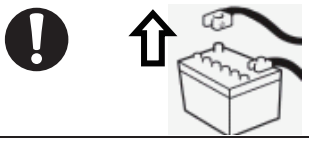
❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

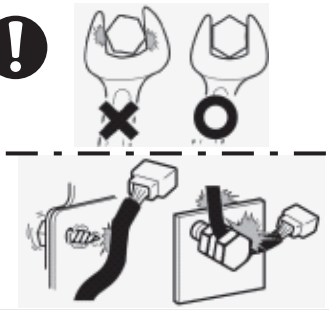
ＬＥＤデイタイムランプ配線取り付け上の注意事項

- ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
  推奨品：Ｖ９６５０－０４８４　（耐熱ビニールテープ・灰色）
- バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
  取り付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。
- エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり部品を取付ける際、
  腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合に
  ラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。
  ラジエーターキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。
  ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。



取り付ける前に

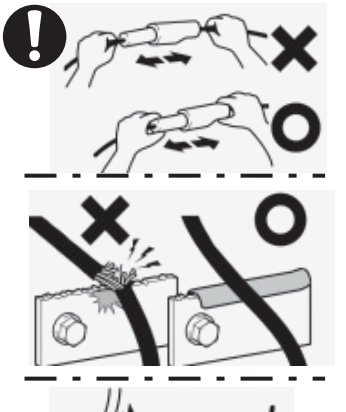
・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。



部品を取り付ける際は

・部品サイズにあった工具を使用する。

・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、
断線に十分に注意する。

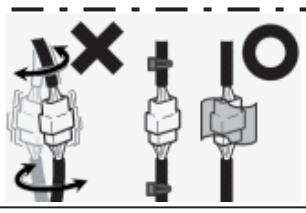


配線の取りまわしは

・コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。

・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。

・コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、
配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
・カットした端末が、ほかの配線と接触しないようにする。
・コネクターが振動により異音がしないように、確実に固定する。

⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように
十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

１．表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・１～３
２．取付上のご注意（取付作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
３．ＬＥＤデイタイムランプ配線取り付け上の注意事項・・・・・・・・・・・・・５
４．目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・６
５．取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７～２３
６．取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
７．未塗装品の取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５～２７
８．補修キット両面テープ貼り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
９．配線図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

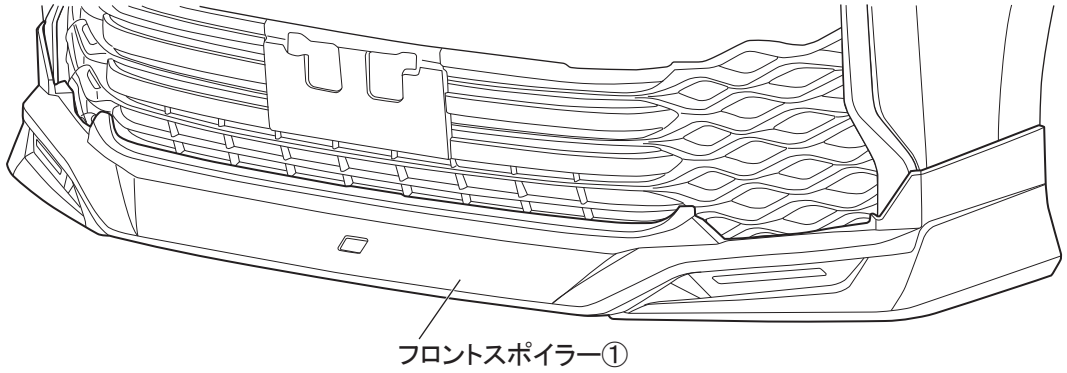
■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具
・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・保護メガネ・エアソー
・電動ドリル（刃：３．０mm/４．０mm/６．０mm/７．０mm/１０．０mm）
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・ビニールテープ（耐熱）
・イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、１年・20,000Kmの保証を実施致します。
（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細は TRD パーツカタログサイト＜https://www.trdparts.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

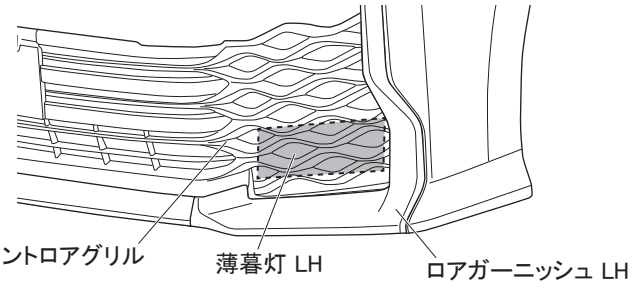


■ 取付準備、 取付要領

※本取付・取扱要領書は、 主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□フロントスポイラー取付準備

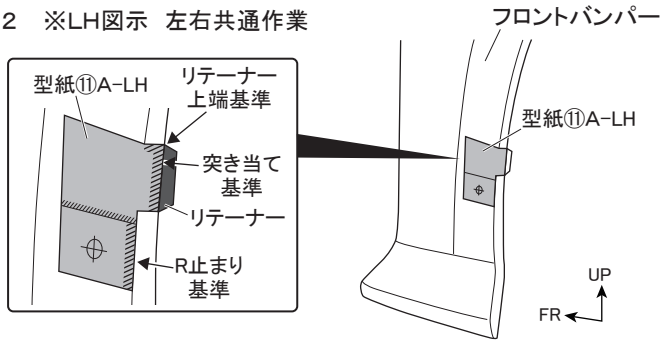
図1　※LH図示　左右共通作業



1. 図1のように該当車両の修理書に従い、 車両からフロントバンパーを取り外し、 フロントバンパーからフロントロアグリル、 薄暮灯（RH/LH）、ロアガーニッシュ（RH/LH）を取り外す。

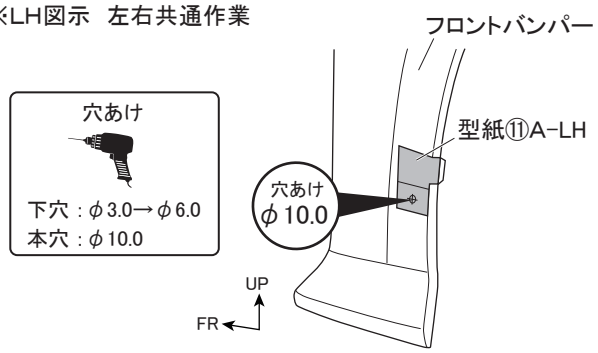
⚠注意：取り外した車両部品、 車両スクリュー、車両クリップは再使用しますので、 無くさないように必ず保管してください。

図2　※LH図示　左右共通作業



2. 図2のように型紙⑪Aをフロントバンパー側面に貼り付ける。（左右各1箇所）

図3　※LH図示　左右共通作業

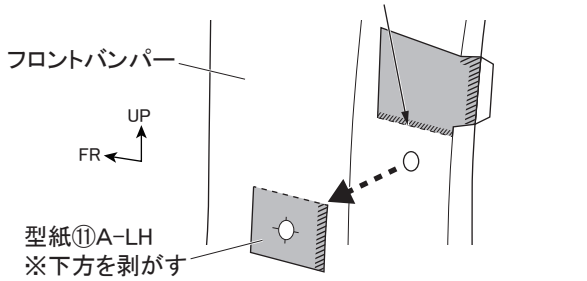


3. 図3のようにフロントバンパーの型紙⑪Aの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0 の順であけ、φ10.0 の本穴をあける。
（左右各1箇所）

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、 位置がズレないように注意してください。

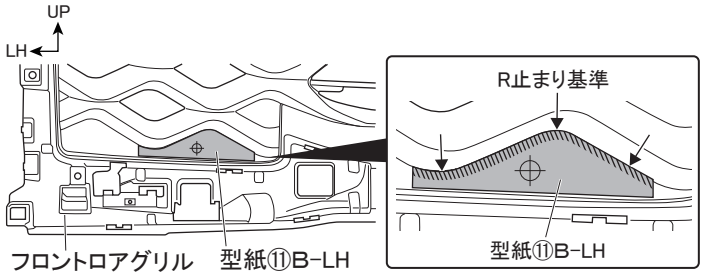
⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

図4　※LH図示　左右共通作業



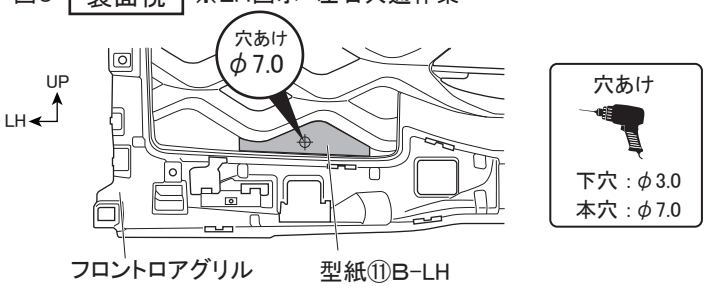
4. 図4のように型紙⑪Aの破線に沿って切り取り、モール高さ位置を残して下方を剥がし、 穴周囲のバリを除去する。（左右各1箇所）

図5 裏面視 ※LH図示　左右共通作業



5. 図5のように型紙⑪Bをフロントロアグリル裏面の図示部に貼り付ける。（左右各1箇所）

図6 裏面視 ※LH図示　左右共通作業



6. 図6のようにフロントロアグリル裏面の型紙⑪Bの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0であけ、φ7.0の本穴をあける。（左右各1箇所）

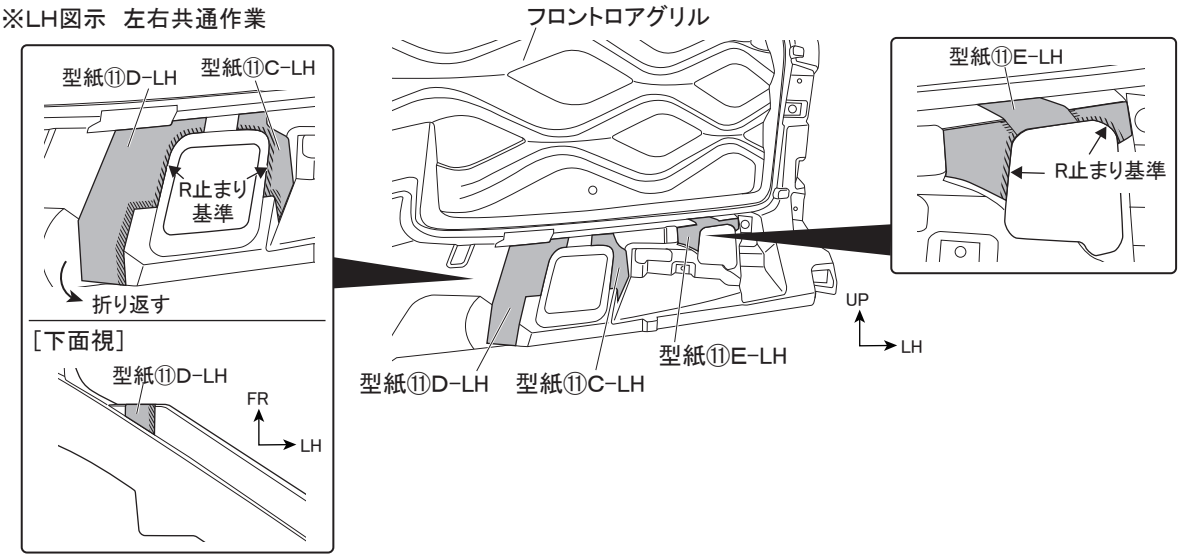
アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

7. 型紙⑪Bを剥がし、穴周囲のバリを除去する。

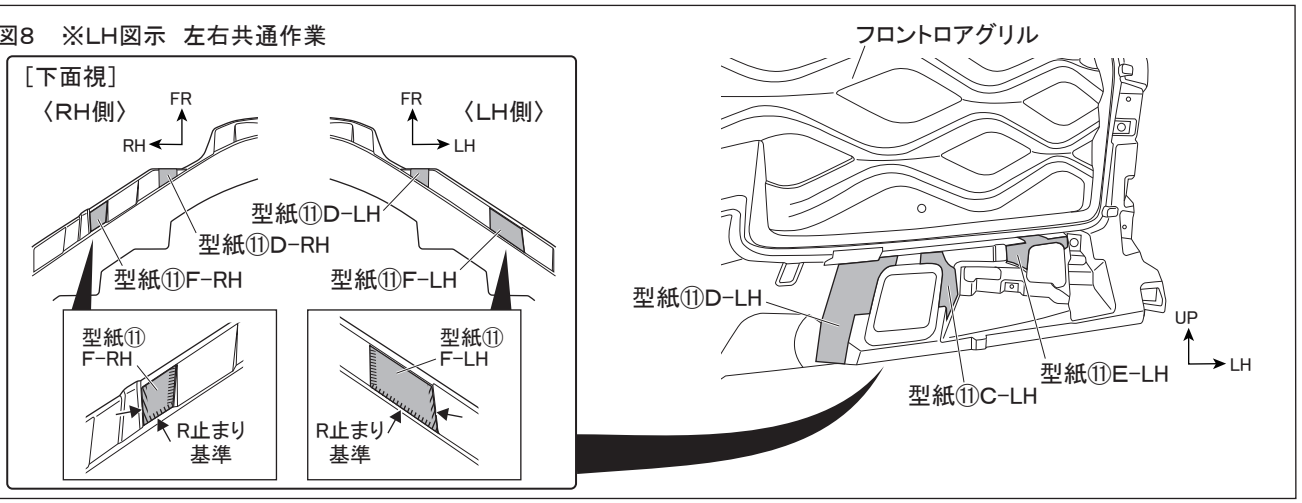
8. 図7のように型紙⑪C、D、Eをフロントロアグリルの図示部に貼り付ける。（左右各3箇所）

図7　※LH図示　左右共通作業



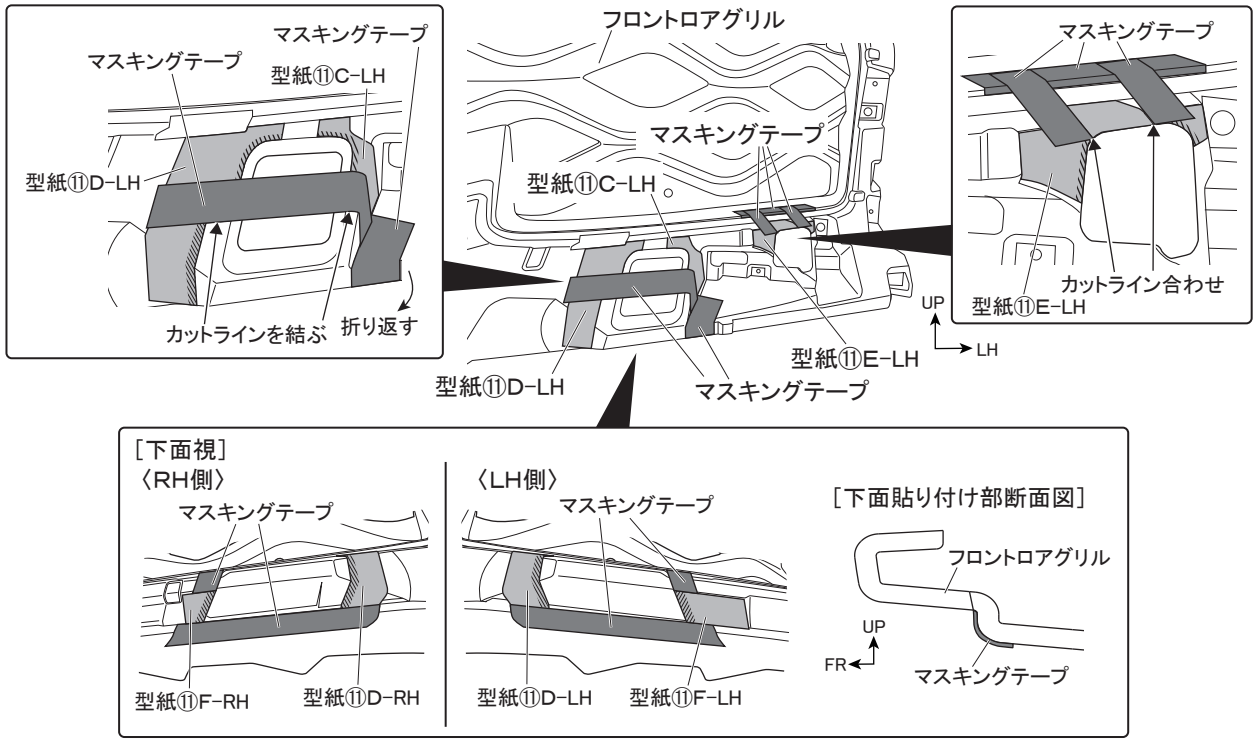
9. 図8のように型紙⑪Fをフロントロアグリル下面の図示部に貼り付ける。（左右各1箇所）

図8　※LH図示　左右共通作業



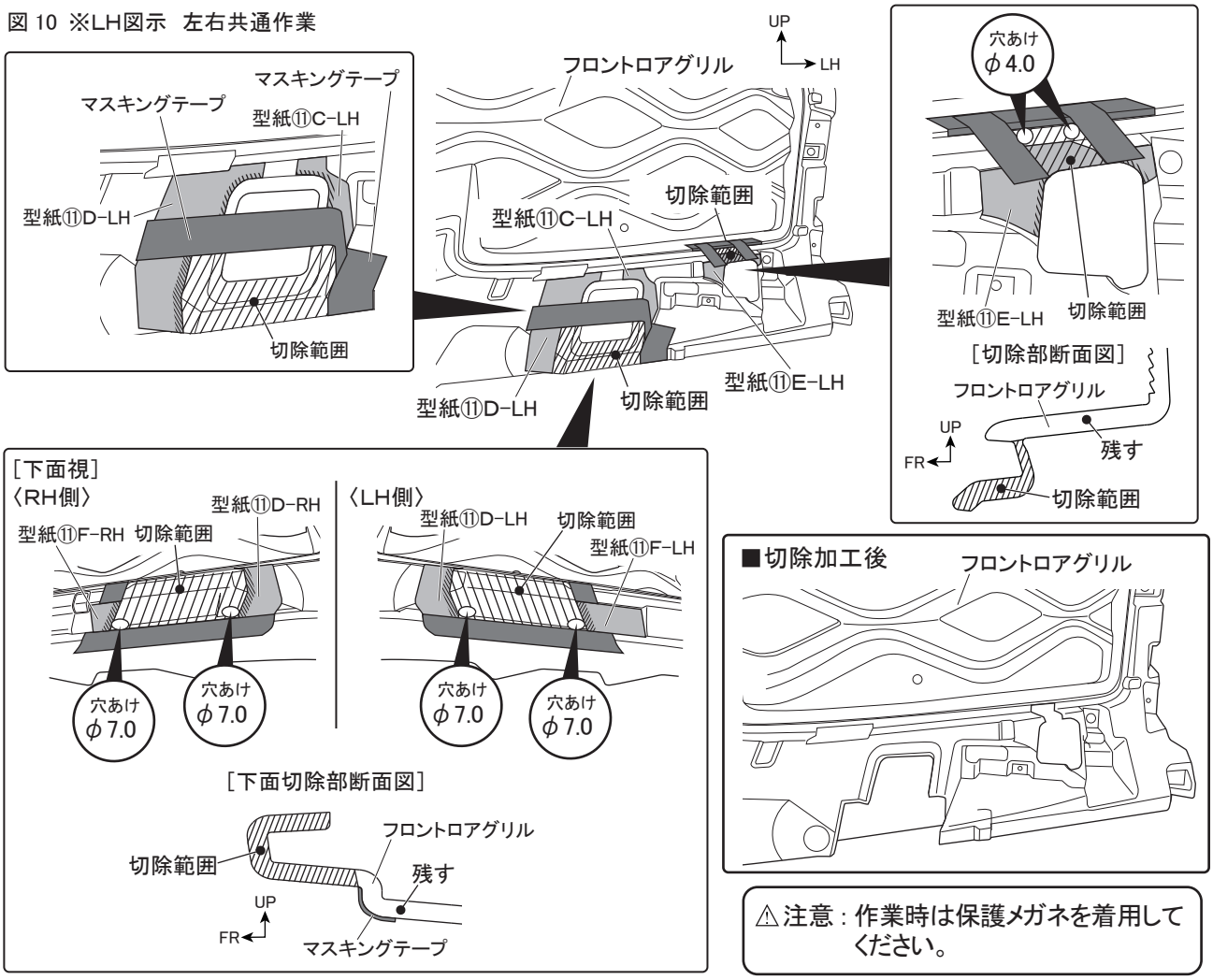
10. 図9のように型紙⑪C、D、E、Fのカットラインに合わせてフロントグリルの図示部にマスキングテープを貼り付ける。

図9　※LH図示　左右共通作業



11. 図 10 のようにフロントロアグリル下面の型紙⑪D、F部にφ7.0 の本穴（左右各2箇所）、前面の型紙⑪E部にφ4.0 の本穴（左右各2箇所）をあけ、型紙⑪およびカットラインのマスキングテープを基準にエアソー等でフロントロアグリルの下図斜線部を切除加工する。

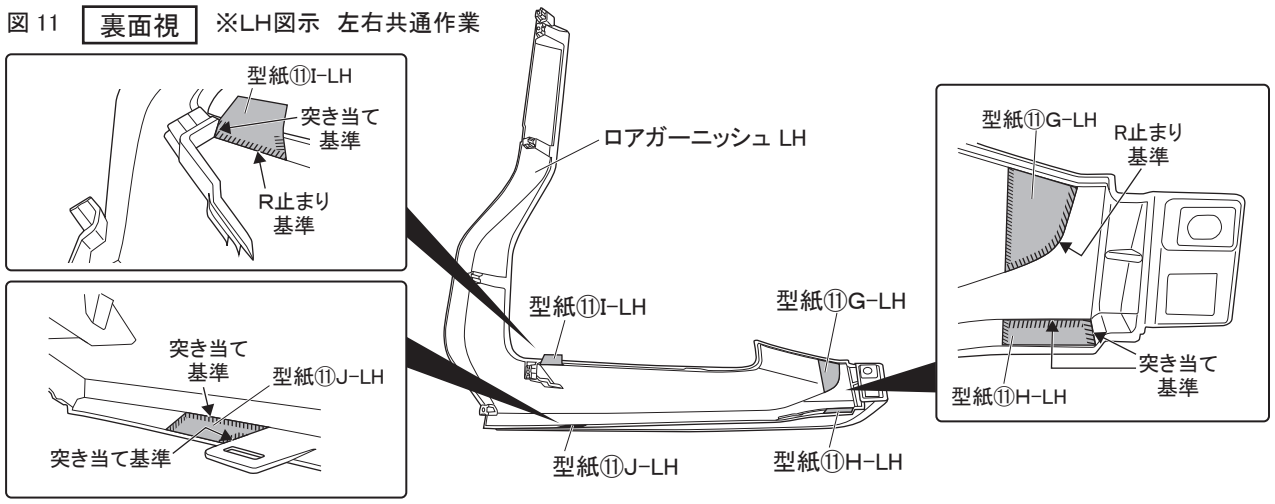
図 10 ※LH図示 左右共通作業



12. 型紙⑪C、D、E、Fおよびマスキングテープを剥がし、切除部周囲のバリを除去する。

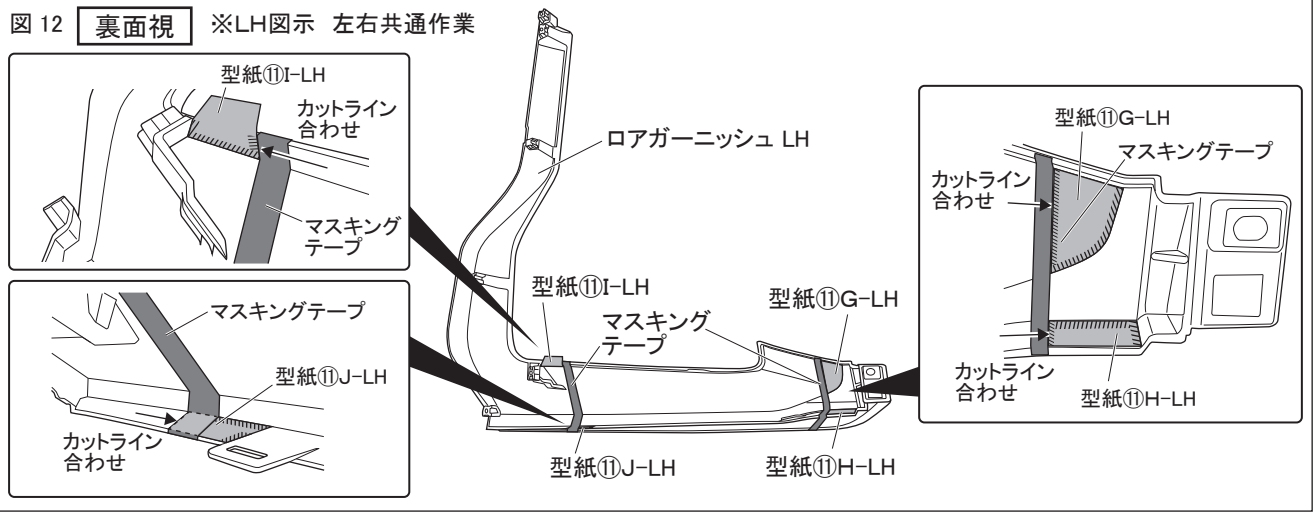
13. 図 11 のように型紙⑪G、H、I、Jをロアガーニッシュ裏面に貼り付ける。（左右各4箇所）

図 11 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



14. 図 12 のように型紙⑪G、H、I、Jのカットラインに合わせてフロントグリルの図示部にマスキングテープを貼り付ける。

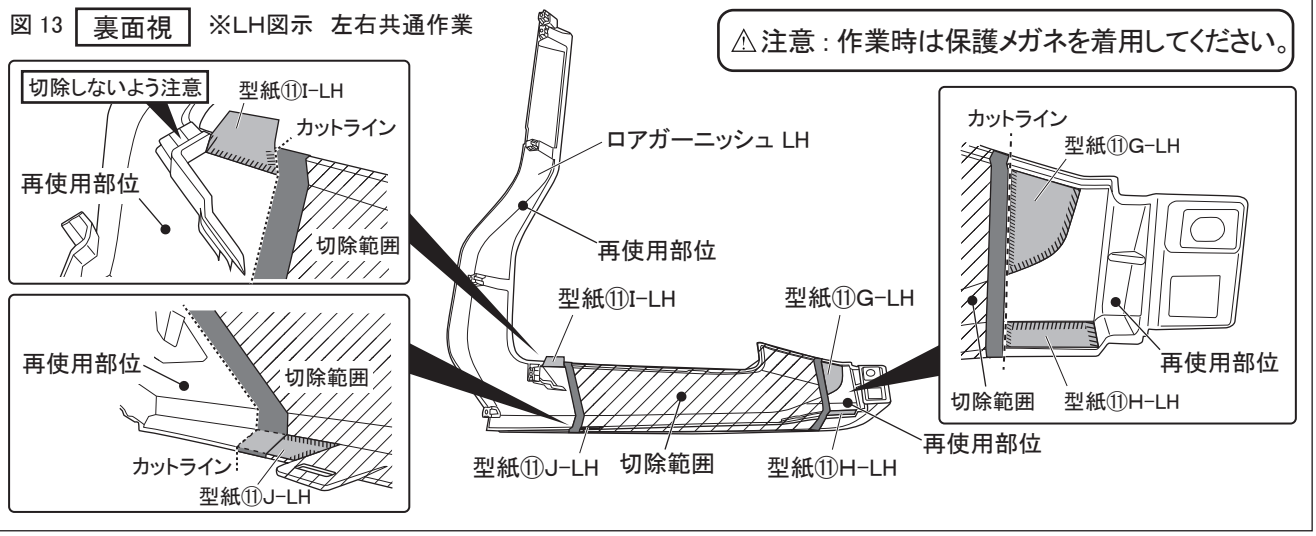
図 12 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



15. 図 13 のようにマスキングテープ（カットライン）に沿ってをロアガーニッシュ沿ってを切除加工する。

図 13 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。



16. 型紙⑪G、H、I、Jを剥がし、 切除部周囲のバリを除去する。

⚠注意：ロアガーニッシュを切除した際、 切除部周囲のバリが鋭利な状態になっている場合があります。
作業中のケガに注意してください。

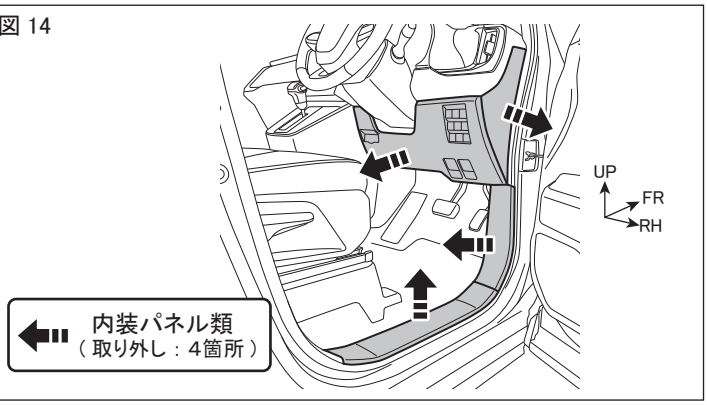
17. 該当車両の修理書に従いフロントバンパーにフロントロアグリル、 ロアガーニッシュを復元をする。

⚠注意：車両仕様により、 復元部品がそれぞれ異なるため必ず修理書を確認してください。

□LEDデイタイムランプ配線作業

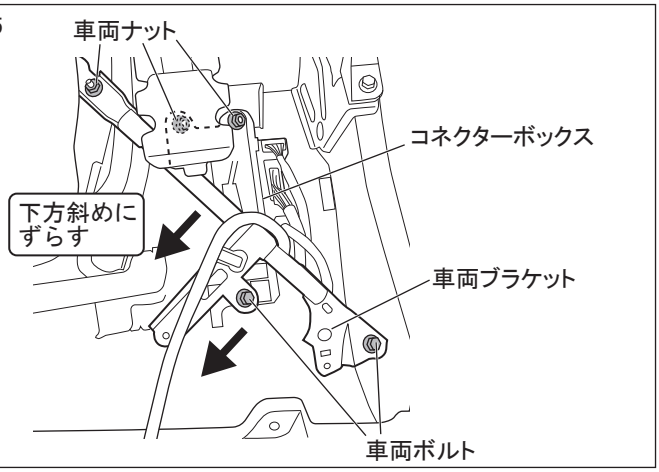
【車両部品の取り外し作業】

図 14



1. バッテリーのマイナス端子を取り外す。
2. 図 14 のように運転席側の内装パネル類を取り外す。（4箇所）

図 15

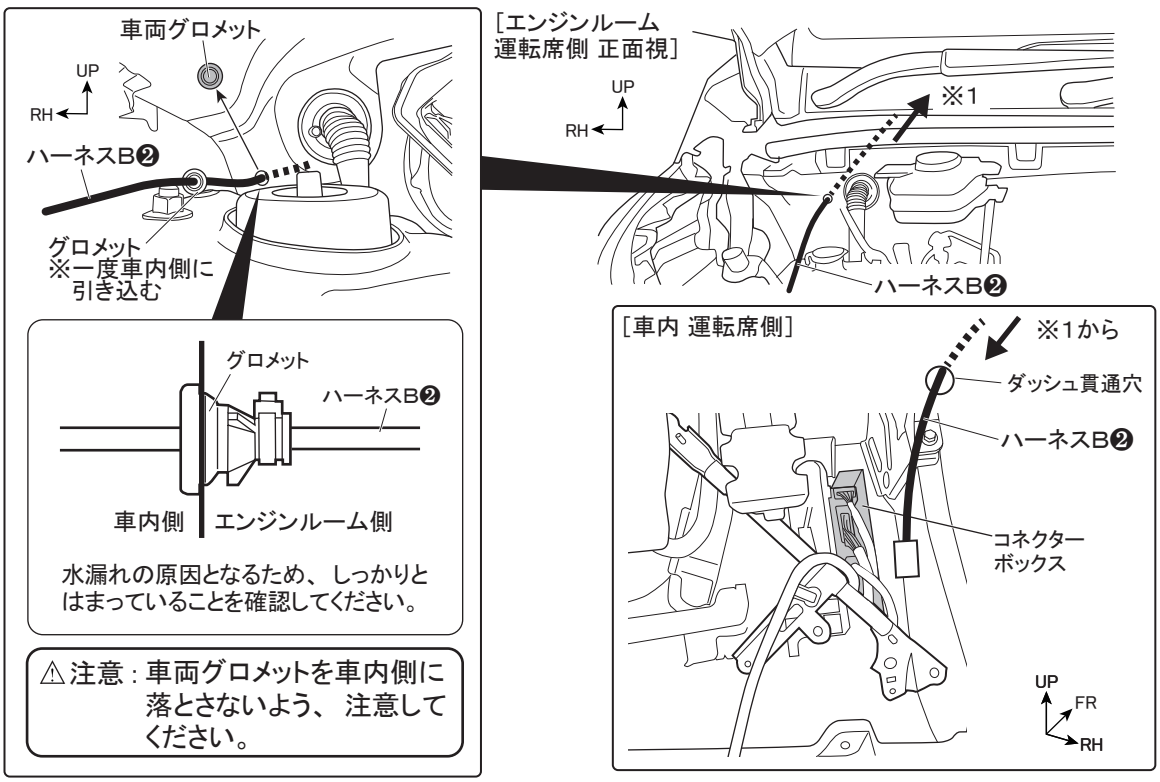


3. 図 15 のように車両ボルト（2箇所）、車両ナット（3箇所）を取り外し、車両ブラケットとコネクターボックスを下方斜め方向にずらす。

【配線作業 -1】[重要] ラジエーターキャップのゆるみに注意して下さい。

1. 図 16 のようにエンジンルーム運転席側図示部のグロメットを取り外し、ダッシュサイレンサーを外側にずらしてダッシュ貫通穴からコネクターボックス横までハーネスB❷を配策し、ハーネスB❷のグロメットを一度車内側へ引き込み、ハーネスB❷のグロメットをダッシュ貫通穴に取り付ける。

図 16



2. 図 17 のように車両 8P コネクター（白）を外し、 ハーネスA❶の 8P コネクターと接続する。

図 17

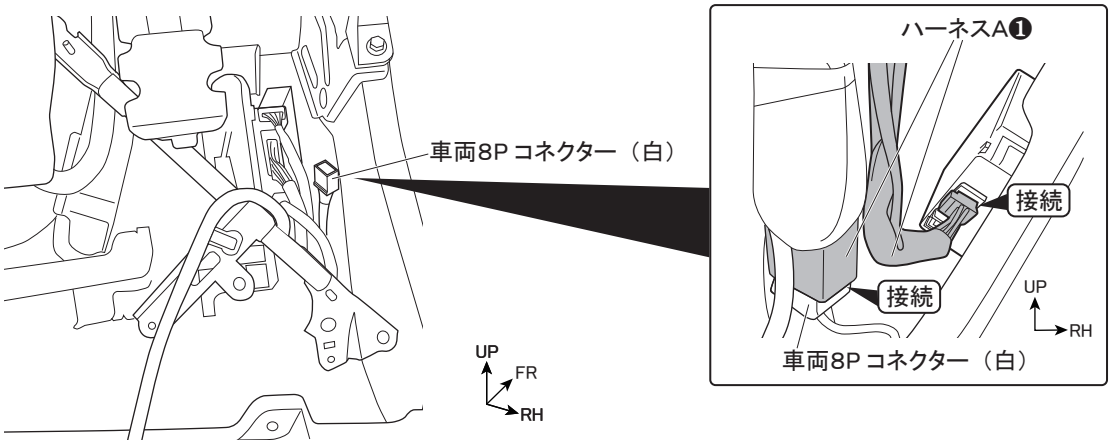
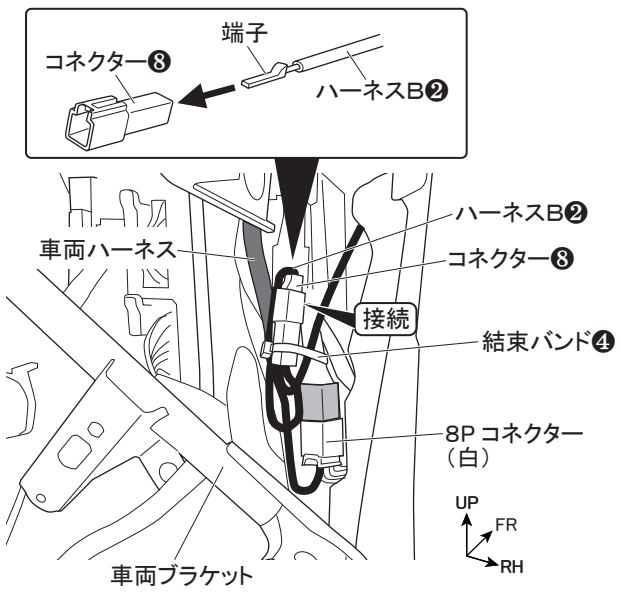


図 18



3. 図 18 のようにハーネスB❷の端子部にコネクター❽を取り付ける。

4. 図 18 のようにハーネスA❶とハーネスB❷の余長を束ねて車両ハーネスに結束バンド❹で仮固定する。

⚠注意 : 結束バンド❹は、 素線に掛からないようにしてください。
また、 ハーネスの余長を調整する際は、無理に曲げたり引っ張らないようにしてください。

【点灯確認】

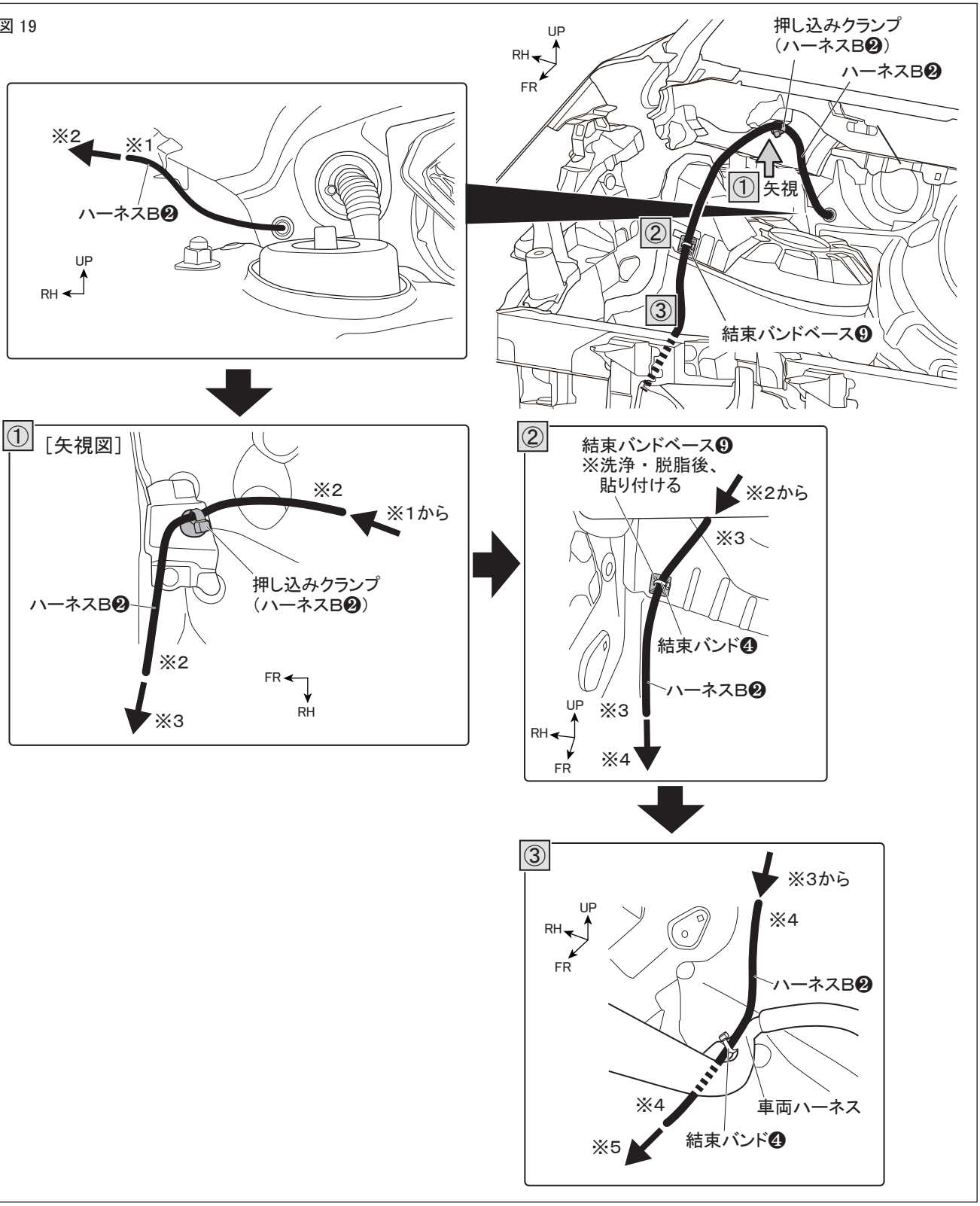
1. エンジンルーム側のハーネスB❷の4P コネクターとハーネスC❸の4P コネクターを接続する。
2. エンジンルーム側のハーネスB❷の丸型端子を車両パネルに取り付ける。（15 ページ　図 20 ④参照）
3. フロントスポイラー①LEDランプハーネスのコネクターとハーネスC❸のコネクターを接続する。（左右各1箇所）
4. バッテリーのマイナス端子を取り付け、 イグニッション ON の状態にしてLEDデイタイムランプの点灯確認を行う。点灯確認後、 バッテリーのマイナス端子を外す。
5. フロントスポイラー①LEDランプハーネスのコネクター、 ハーネスB❷のコネクター、 ハーネスC❸の4Pコネクター、2. で取り付けた丸型端子を取り外す。
6. 車両ブラケットとコネクターボックスを復元する。
7. 車内に配策したハーネスA❶の結束バンドを本締めする。

⚠注意 : フロントスポイラーをフェンダー脇に持ってきた時、 車体にあたって傷をつけないようにしてください。

【配線作業 -2】[重要] ラジエーターキャップのゆるみに注意して下さい。

1. 図 19 のようにエンジンルーム内にハーネスB❷を配策し、 ハーネスB❷の押し込みクランプを取り付ける。（図①参照：1箇所）
2. 図 19 のようにエンジンルーム内に結束バンドベース❾を貼り付ける。（図②参照：1箇所）
   その際に車両貼り付け部の汚れを取り除き、 イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。
3. 図 19 のように配策したハーネスB❷を手順 6. で貼り付けた結束バンドベース❾と車両ハーネスに結束バンド❹で仮固定する。（図②③参照：2箇所）

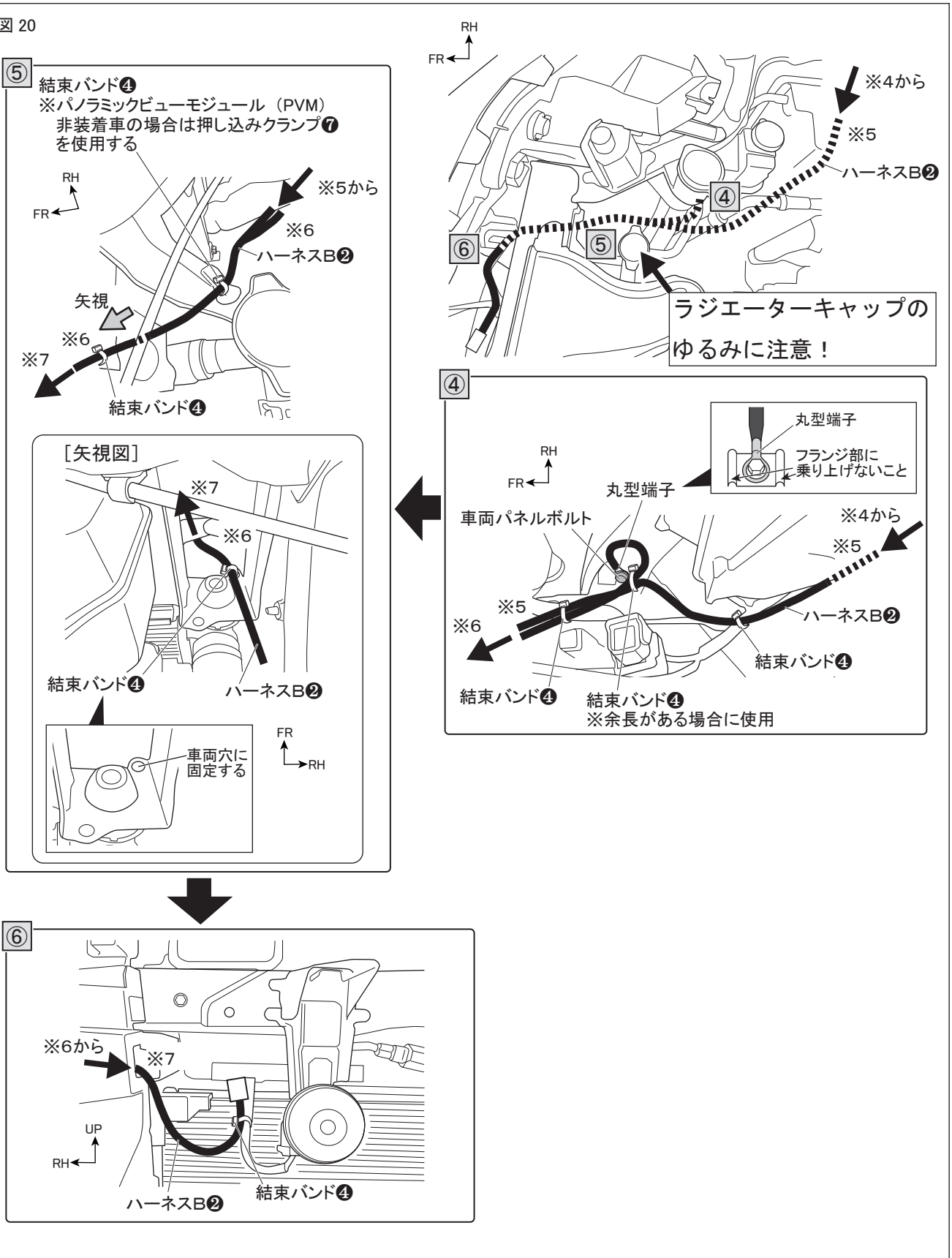
図 19



4. 図 20 のようにエンジンルーム内にハーネスB❷を配策し、 結束バンド❹で仮固定する。
（図④⑤⑥参照：6箇所）
※パノラミックビューモジュール（PVM）非装着車の場合は、 一部結束バンド❹の代わりに押し込みクランプ❼を取り付けて固定してください。（図⑤参照：1箇所）

5. 図 20 のようにハーネスB❷の丸型端子を上から車両パネルに接続する。（図④参照：1箇所）
【車両パネルボルト締め付けトルク：10N·m】

図 20

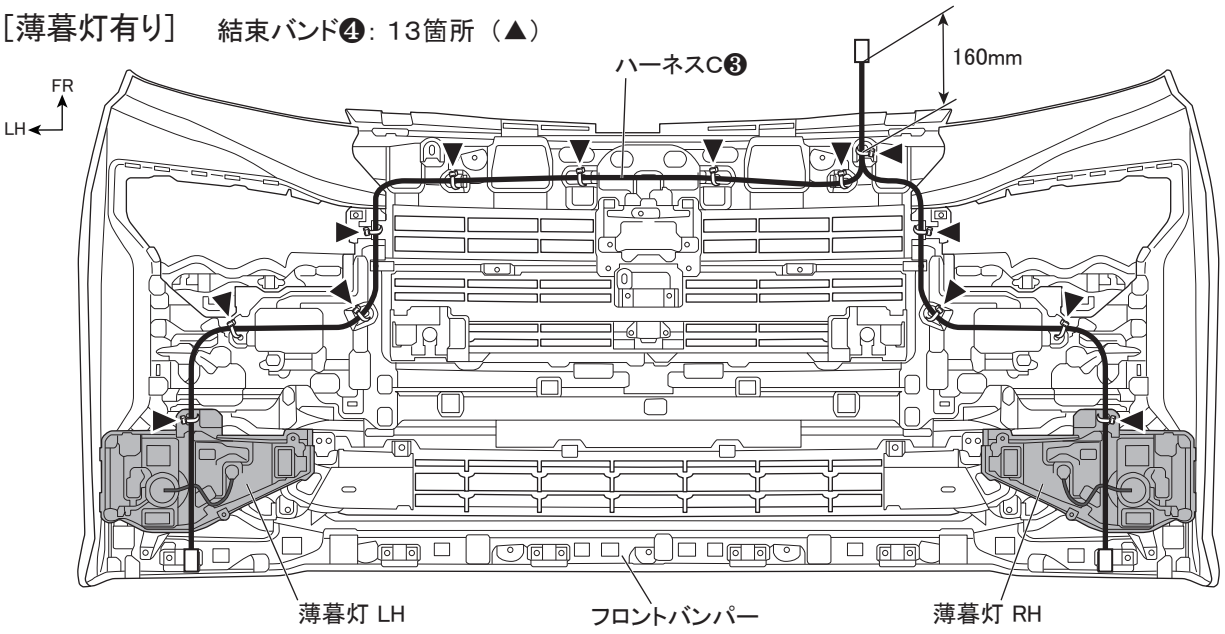


【フロントバンパー裏側】

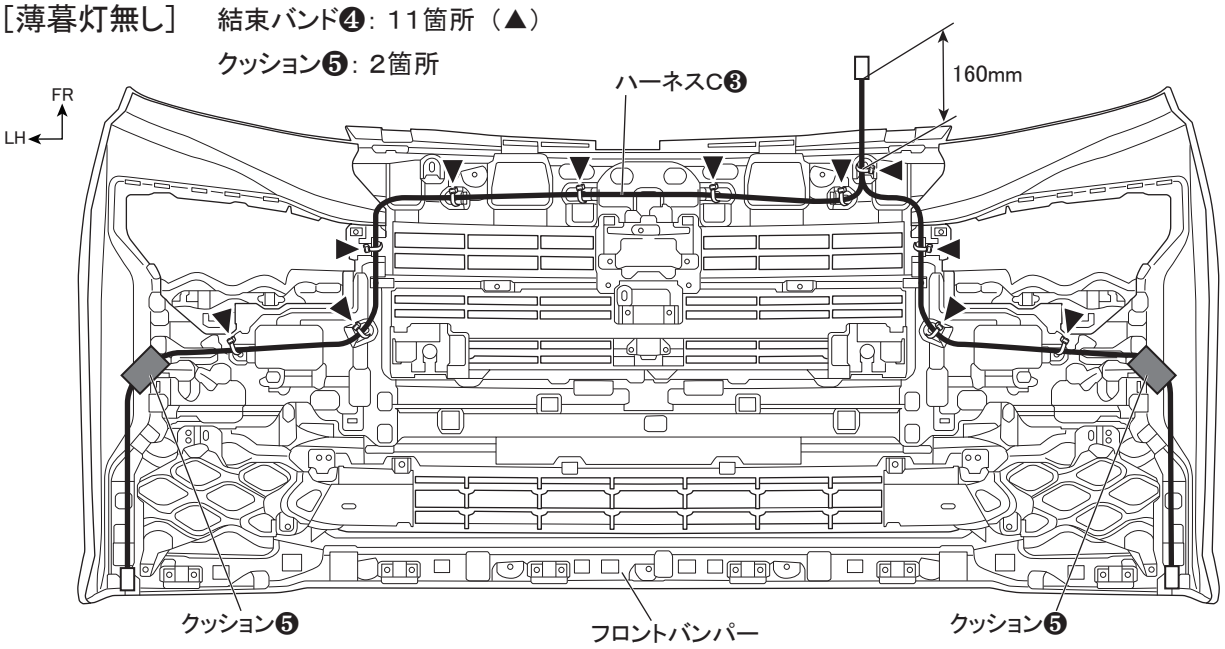
1. 図 21 のようにフロントバンパー裏側の車両ハーネスにハーネスC❸を沿わせて配策し、クッション❺、結束バンド❹で固定する。
   クッション貼り付けの際、貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。
   ※車両の仕様により、車両ハーネスが無い箇所はフロントバンパー既設のハーネスクランプ穴に結束バンド❹で固定してください。

図 21 裏面視

［薄暮灯有り］　結束バンド❹：13箇所（▲）

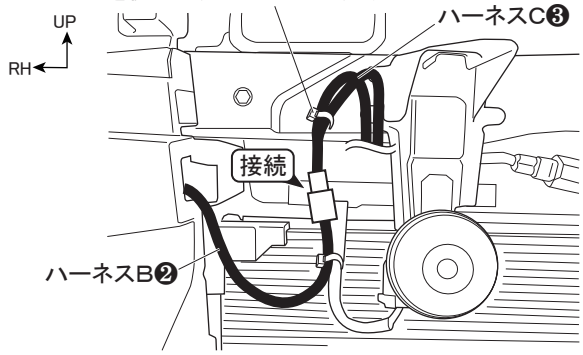


［薄暮灯無し］　結束バンド❹：11箇所（▲）
クッション❺：2箇所



2. ハーネスC❸のコネクターをフロントバンパー前面に引き出しておく。
3. 該当車両の修理書に従いフロントバンパーを復元する。
   ※後の作業で下面からフロントバンパー裏側にアクセスするため、アンダーカバーおよびフェンダーライナーは復元しないでください。

図 22　結束バンド❹
※パノラミックビューモジュール（PVM）非装着車の場合は押し込みクランプ❼を使用し、車両穴に固定する



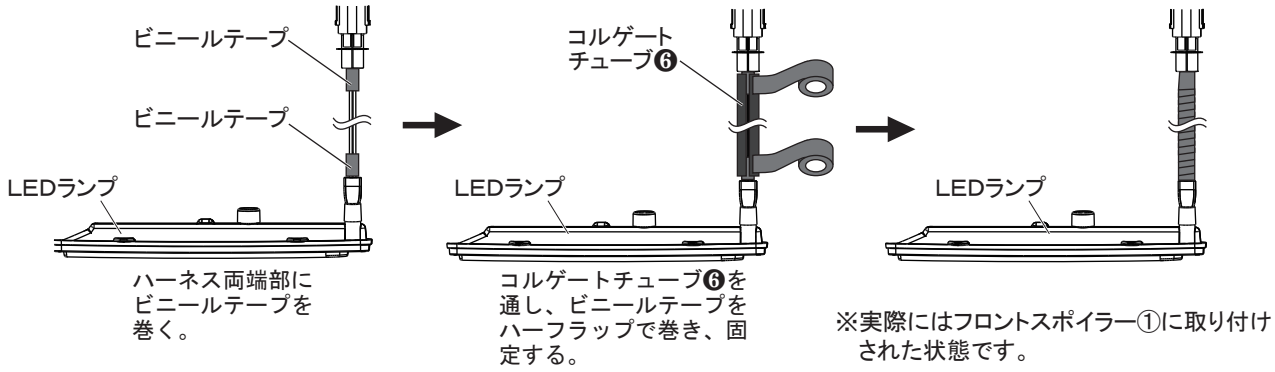
4. 図 22 のようにハーネスC❸を配策し、ハーネスB❷と接続して結束バンド❹で固定する。（1箇所）
※パノラミックビューモジュール（PVM）非装着車の場合は、一部結束バンド❹の代わりに押し込みクランプ❼を取り付けて固定してください。

5. エンジンルームに配策したハーネスB❷の結束バンド❹を本締めする。

【LEDランプ】

1. 図 23 のようにフロントスポイラー①のLEDランプハーネスにコルゲートチューブ❻を通してビニールテープで巻き、固定する。（左右各1箇所）

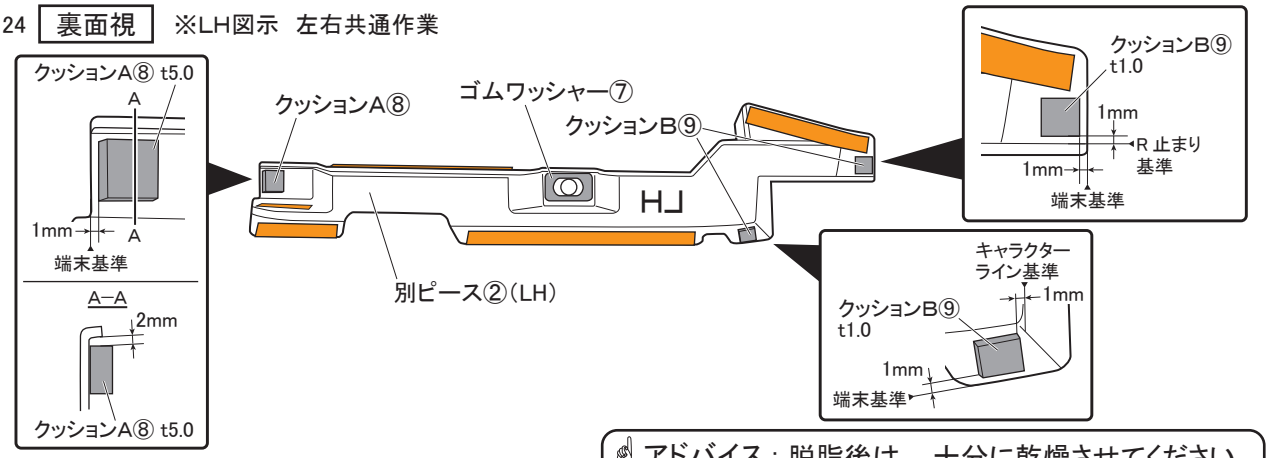
図 23　※LH図示　左右共通作業



□フロントスポイラー取付要領

1. 図 24 のように別ピース②裏面の下図位置にゴムワッシャー⑦（左右各1箇所）、クッションA⑧（左右各1箇所）、クッションB⑨（左右各2箇所）を貼り付ける。
その際に貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 24　裏面視　※LH図示　左右共通作業



アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

2. 図 25 のようにフロントロアグリル部に別ピース②をあて、 クリップB⑥で固定する。（左右各1箇所）

図 25 ※LH図示 左右共通作業

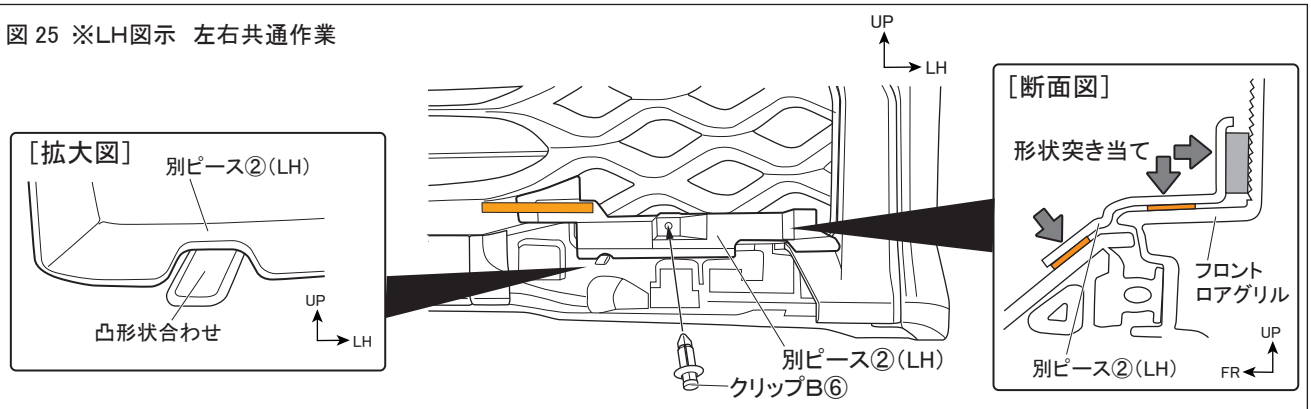
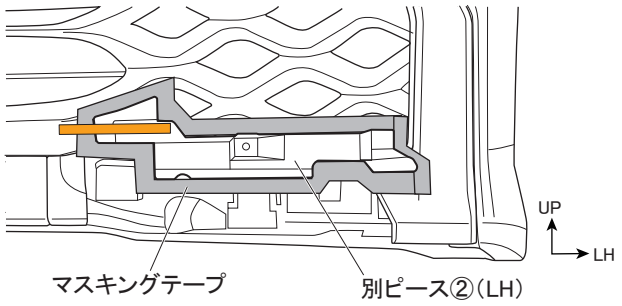


図 26 ※LH図示 左右共通作業

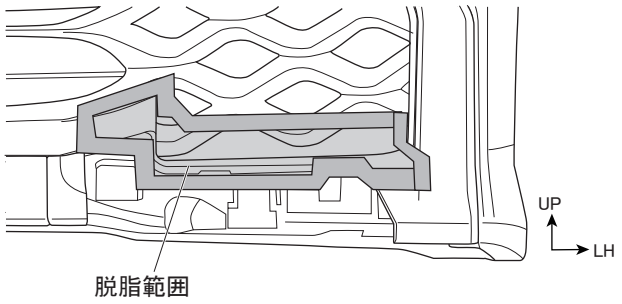


3. 図 26 のように別ピース②周囲端末に合わせてフロントロアグリル部にマスキングテープを貼り付ける。

⚠注意 : PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、 マスキングを行ってください。

4. 別ピース②を取り外す。

図 27 ※LH図示 左右共通作業

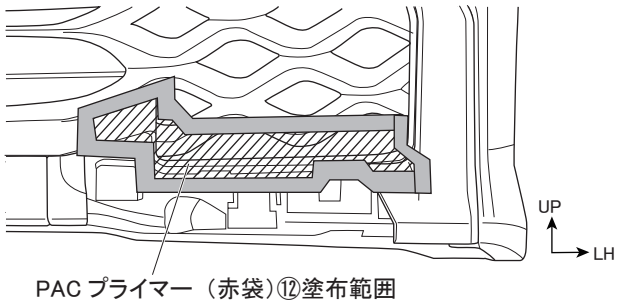


5. 図 27 のように別ピース②の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、 イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。
（左右各1箇所）

⚠注意 : 脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス : 脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

図 28 ※LH図示 左右共通作業



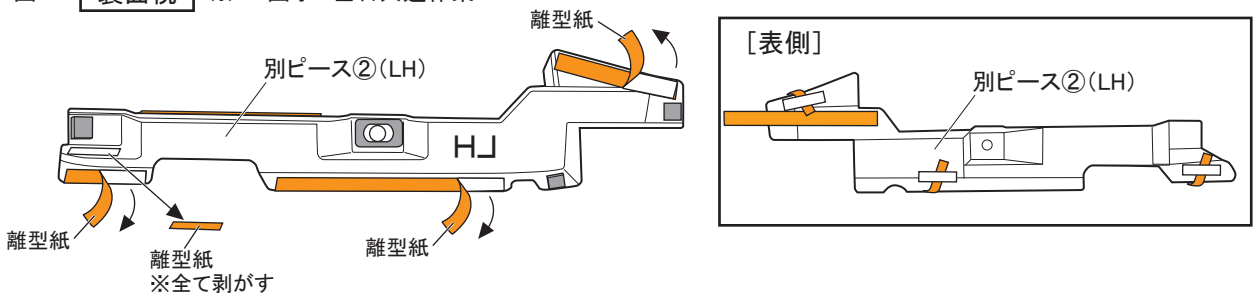
6. 図 28 のように別ピース②の両面テープ貼り付け部（左図斜線部）にPACプライマー（赤袋）⑫を塗布する。（左右各1箇所）

⚠注意 : プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、 直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
付着してしまいますと、 変色する事がありますので注意してください。

⚠注意 : PAC プライマー（赤袋）は後の作業に再使用します。
揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

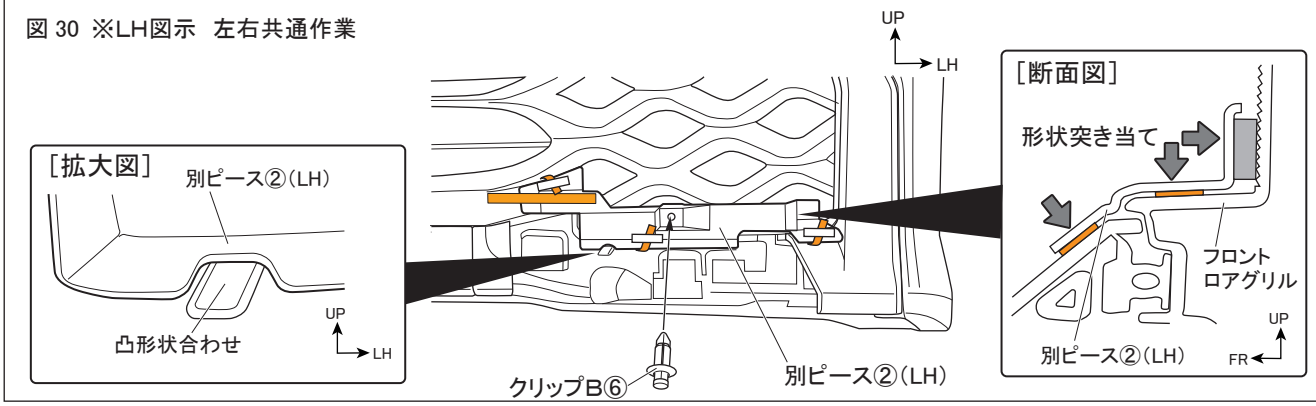
7. 図 29 のように別ピース②裏側（車両貼り付け面）の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（左右各3箇所、 全剥がし左右各1箇所）

図 29 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



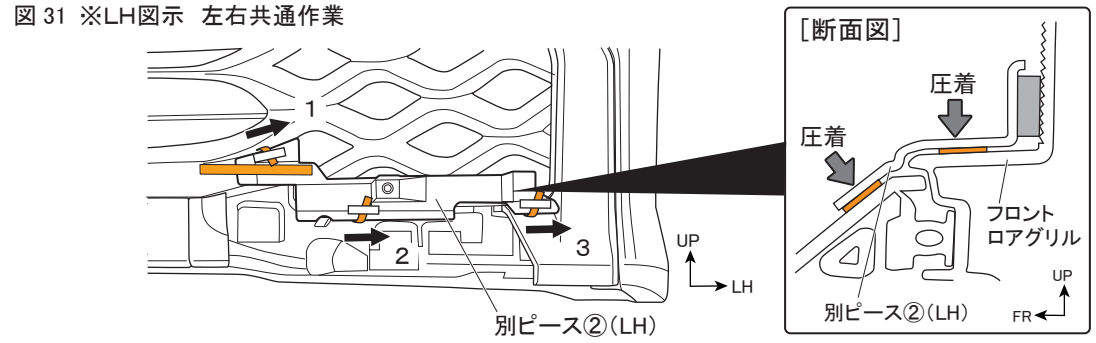
8. 図 30 のようにフロントロアグリル部に別ピース②をあて、 クリップB⑥で固定する。（左右各1箇所）

図 30 ※LH図示 左右共通作業



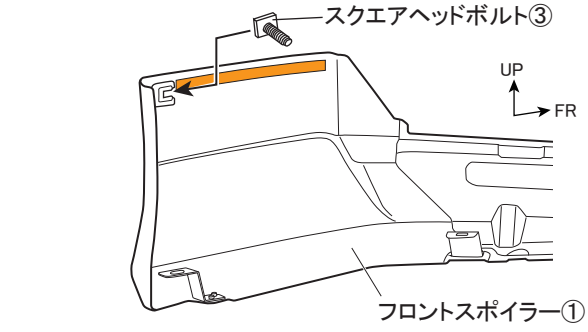
9. 図 31 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各3箇所）

図 31 ※LH図示 左右共通作業



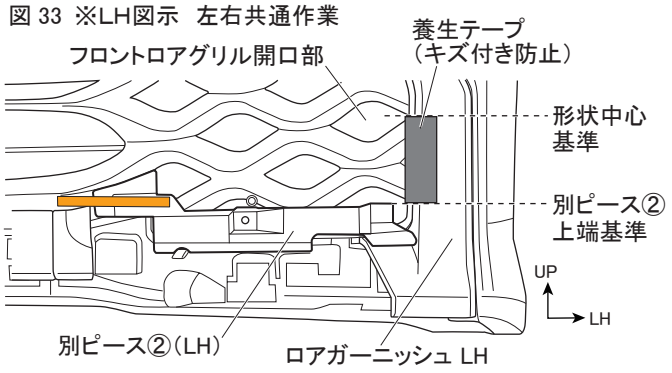
⚠注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

図 32 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



10. 図 32 のようにフロントスポイラー①裏面にスクエアヘッドボルト③を取り付ける。
（左右各1箇所）

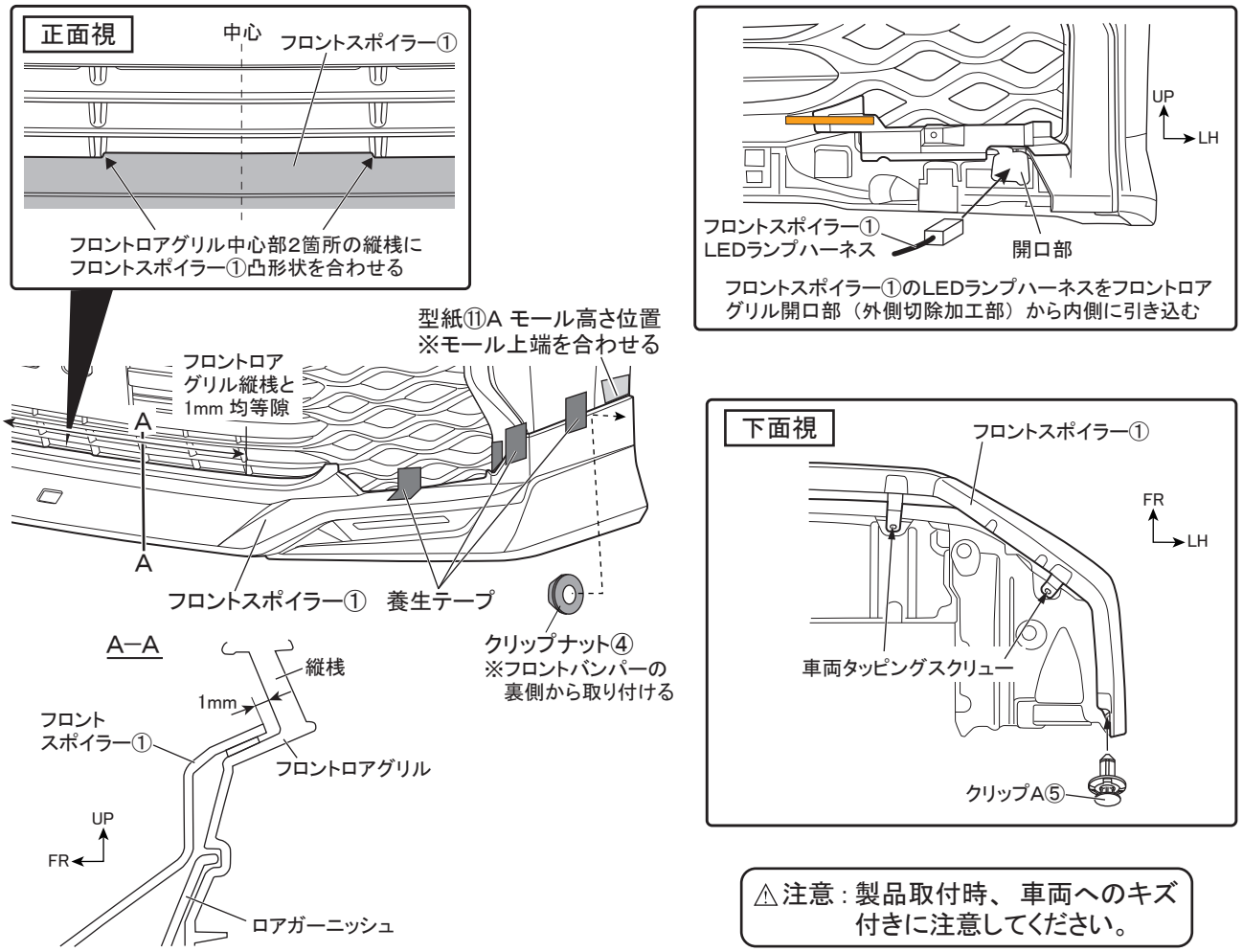
図 33 ※LH図示 左右共通作業



11. 図 33 のようにロアガーニッシュの図示部にキズ付き防止のため、 養生テープを貼り付ける。（左右各1箇所）

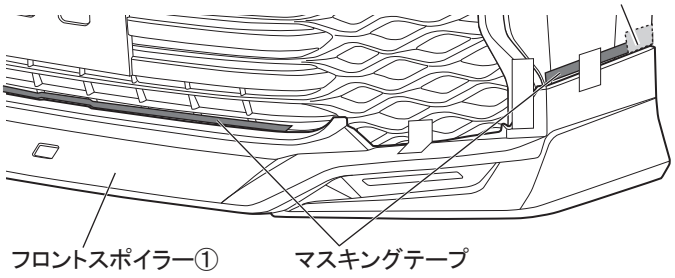
12. 図 34 のようにフロントスポイラー①LEDランプハーネス（左右各1箇所）をフロントロアグリルの開口部からフロントバンパー内側に引き込み、フロントバンパー側面の型紙⑪Aのモール高さ位置に合わせてフロントスポイラー①をあて、 下面を車両タッピングスクリュー（左右各2箇所）、クリップA⑤（左右各1箇所）、 側面をフロントバンパー内側からクリップナット④（左右各1箇所）で仮締めし、 養生テープ等で仮固定する。

図 34 ※LH図示 左右共通作業



⚠注意 : 製品取付時、 車両へのキズ付きに注意してください。

図 35　※LH図示　左右共通作業

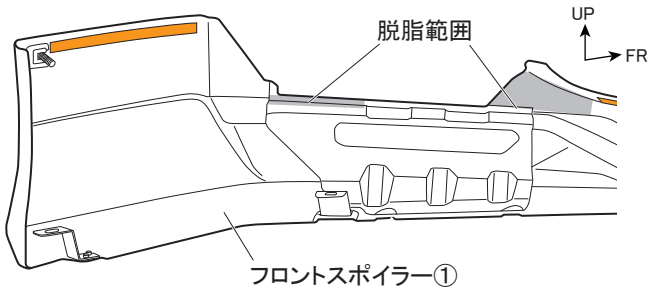


13. 図 35 のようにフロントスポイラー①上端（モール貼り付け部はモール上端）に合わせてフロントバンパーにマスキングテープを貼り付ける。

⚠注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

14. フロントスポイラー①LEDランプハーネスのコネクターを外し、フロントスポイラー①を取り外す。

図 36　裏面視　※LH図示　左右共通作業

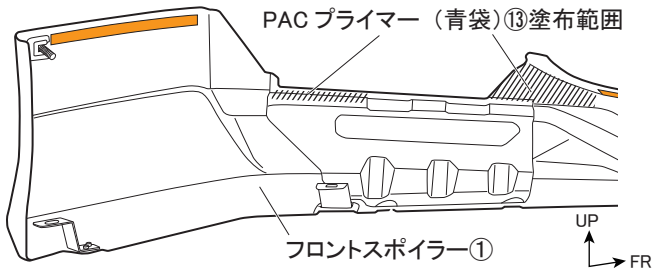


15. 図 36 のようにフロントスポイラー①裏面の別ピース②の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。（左右各2箇所）

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

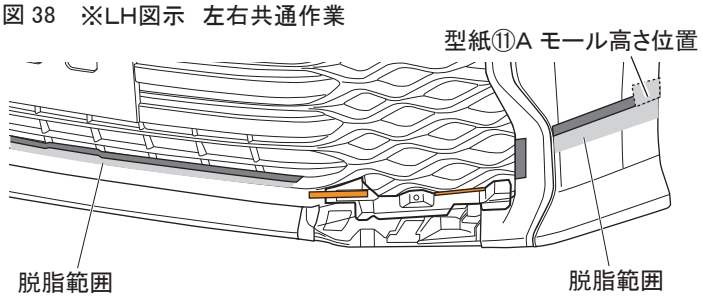
図 37　裏面視　※LH図示　左右共通作業



16. 図 37 のようにフロントスポイラー①裏面の別ピース②の両面テープ貼り付け部（左図斜線部）にPACプライマー（青袋）⑬を塗布する。（左右各2箇所）

⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図 38　※LH図示　左右共通作業

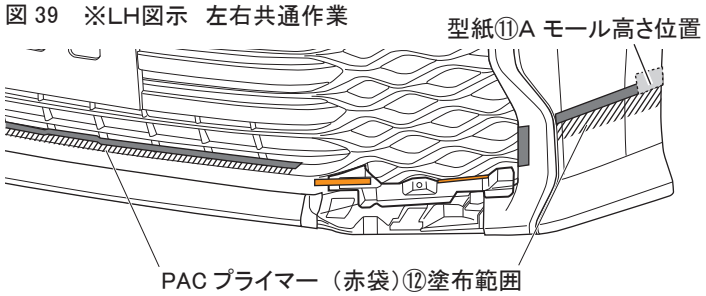


17. 図 38 のようにフロントスポイラー①の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 39　※LH図示　左右共通作業

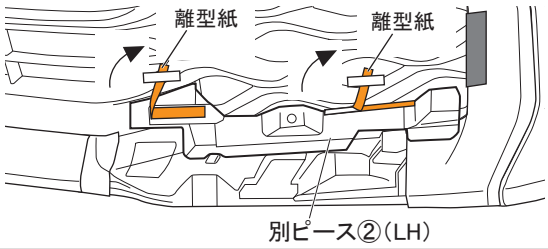


18. 図 39 のようにフロントスポイラー①の両面テープ貼り付け部（左図斜線部）にPACプライマー（赤袋）⑫を塗布する。

⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

19. マスキングテープを剥がす。
※型紙⑪Aは剥がさないでくださ い。

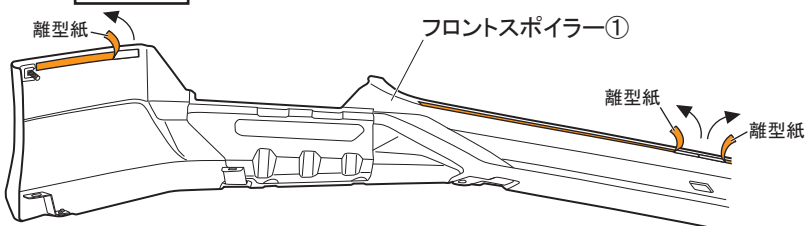
図 40　※LH図示　左右共通作業

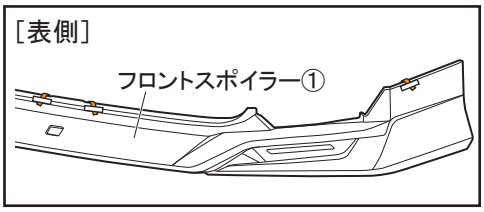


20. 図 40 のように別ピース②の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等でフロントロアグリルに貼付ける。（左右各2箇所）

21. 図 41 のようにフロントスポイラー①裏側の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（左右各2箇所）

図 41　裏面視　※LH図示　左右共通作業

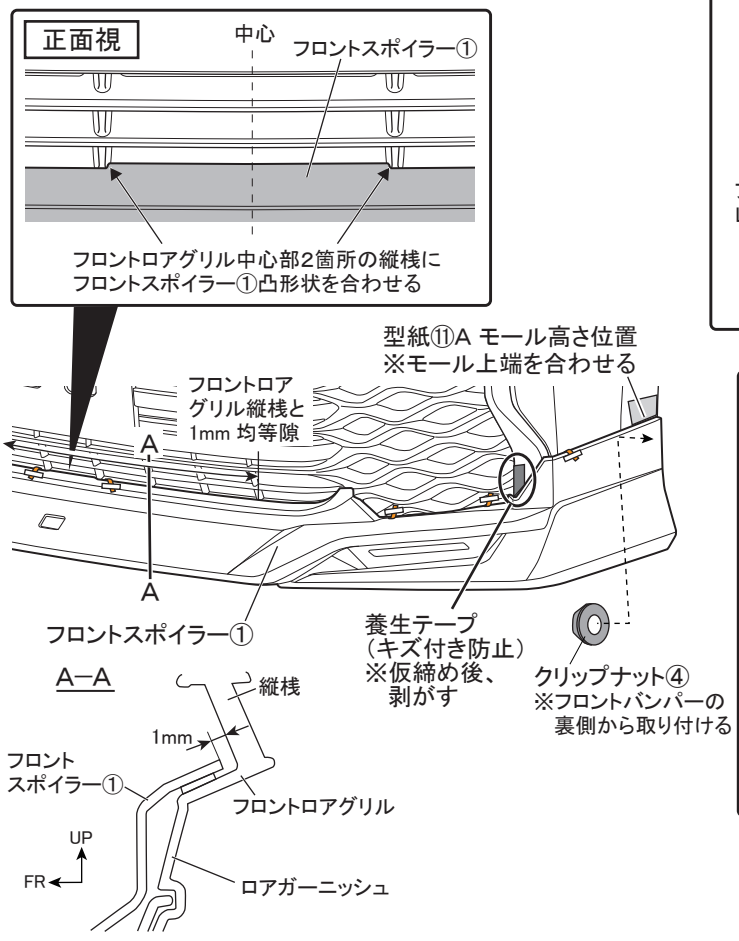


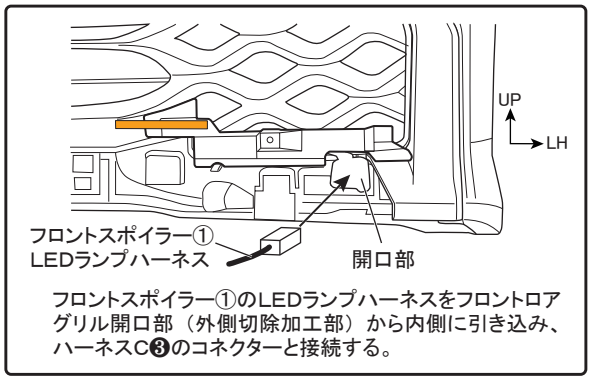


22. 図 42 のようにフロントスポイラー①LEDランプハーネスをフロントロアグリルの開口部からフロントバンパー内側へハーネスの噛み込み等が無いことを確認して引き込み、ハーネスC❸のコネクターと接続する。（左右各1箇所）

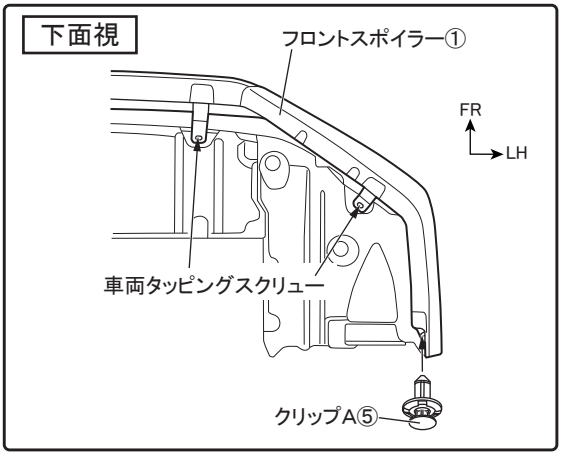
23. 図 42 のようにフロントバンパー側面の型紙⑪Aのモール高さ位置に合わせてフロントスポイラー①をあて、下面を車両タッピングスクリュー（左右各2箇所）、クリップA⑤（左右各1箇所）、側面をフロントバンパー内側からクリップナット④（左右各1箇所）で仮締めし、養生テープ（キズ付き防止）を剥がす。

図 42　※LH図示　左右共通作業



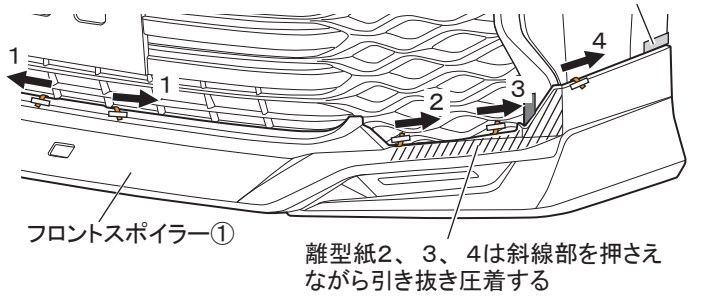


フロントスポイラー①のLEDランプハーネスをフロントロアグリル開口部（外側切除加工部）から内側に引き込み、ハーネスC❸のコネクターと接続する。



⚠注意：製品取付時、車両へのキズ付きに注意してください。

図 43　※LH図示　左右共通作業



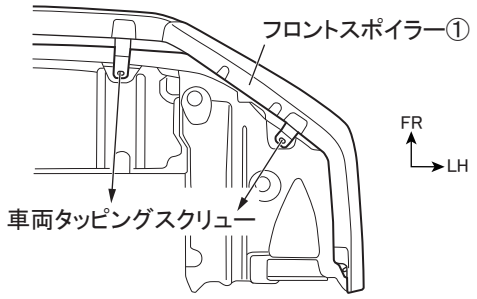
24. 図 43 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各4箇所）

⚠注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

アドバイス　両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、 最低3時間程度、 強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

⚠ 警告　両面テープは十分に圧着してください。 圧着が不十分な場合、 浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、 24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、 剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

図 44　下面視　※LH図示　左右共通作業



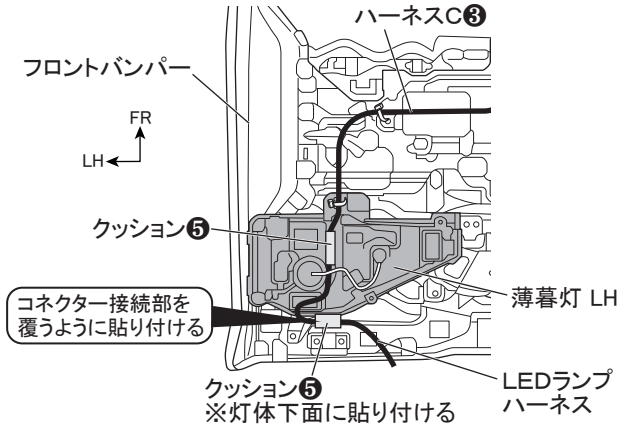
25. 図 44 のようにフロントバンパー下面の車両タッピングスクリューを取り外す。（左右各2箇所）

26. フロントバンパー下面からアクセスできるようにアンダーカバーおよびフェンダーライナーをずらす。

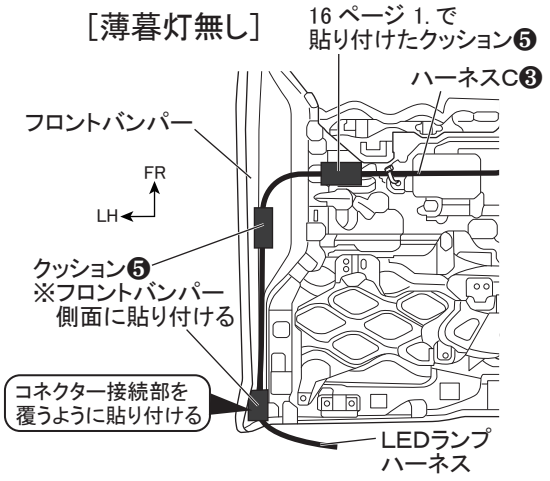
27. 図 45 のように車両下面から手を入れてフロントバンパー裏側にクッション❺でコネクター部、 ハーネス部を貼り付け固定する。（左右各2箇所）
その際に貼り付け部の汚れを取り除き、 イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 45　裏面視　※LH図示　左右共通作業

［薄暮灯有り］



［薄暮灯無し］



28. 側面のクリップナット④（左右各1箇所）を本締めし、 アンダーカバー、 フェンダーライナーを復元して 25. で取り外したフロントスポイラー①下面の車両タッピングスクリュー（左右各2箇所）を本締めする。

29. 該当車両の修理書に従い、 運転席側の内装パネルを復元する。

30. 型紙⑪A（左右各1箇所）を剥がす。

31. バッテリーのマイナス端子を取り付け、 各システムの動作確認を行う。

■LEDデイタイムランプ取り付け後の確認・注意事項

・ハーネスに無理な力が掛かっていないか、 噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
・イグニッション ON の状態にしてLEDデイタイムランプの点灯確認を行う。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、 浮き・剥がれ等、 無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、 再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、 各部の点検・調整・設定を行ってください。

⚠ 重要

分解・脱着した部位以外でも、 周辺部品にふれて、 ラジエーターキャップのゆるみや周辺部品の
変形などが発生することがあります。 作業後は必ず、 確認を行ってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS341-28055-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

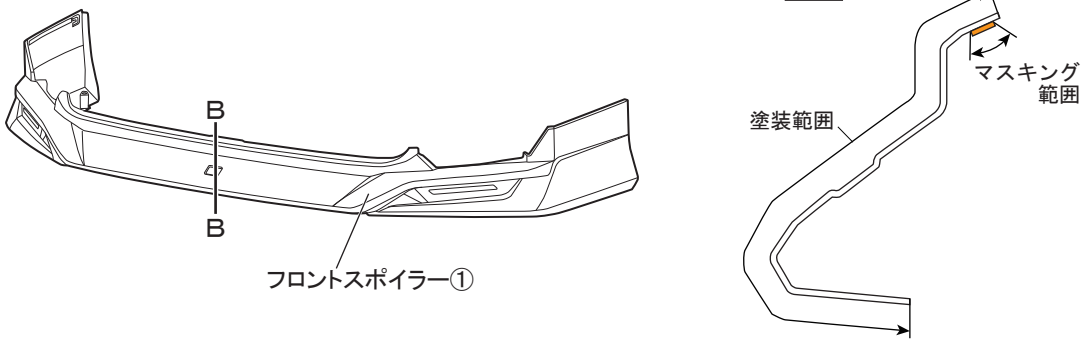
⚠注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ フロントスポイラーの塗装

1. 図 46 のようにフロントスポイラー①を車両色で塗装する。

図 46 ※LH図示 左右共通作業

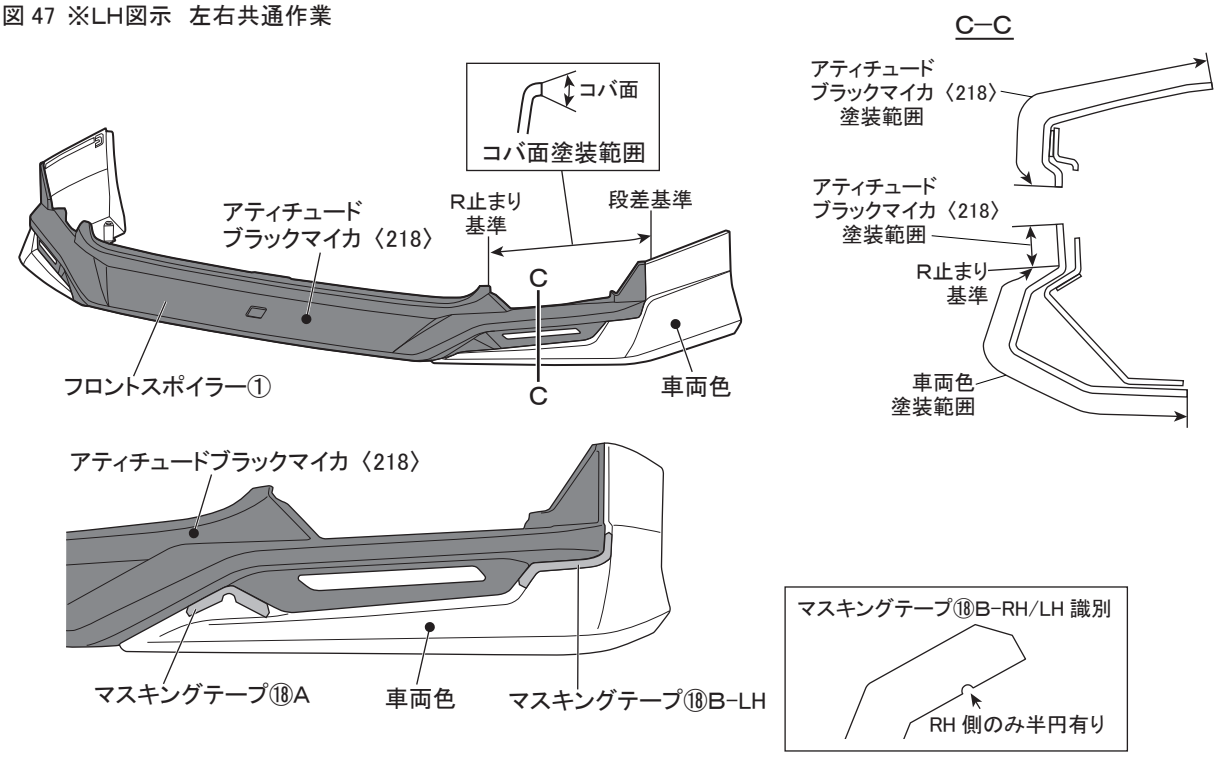


⚠警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

⚠注意：乾燥温度を 70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

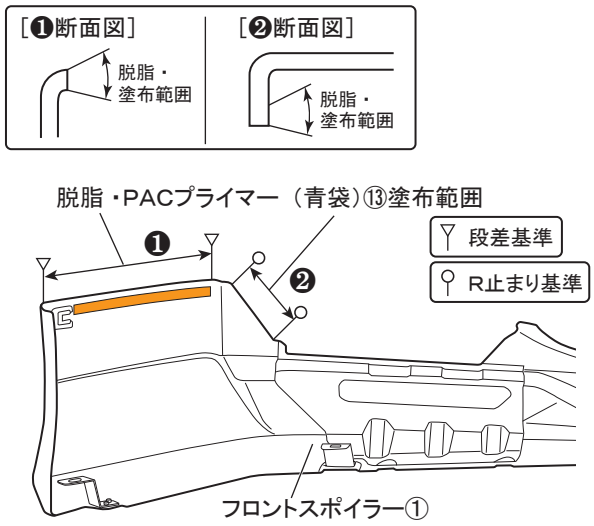
2. 図 47 のようにフロントスポイラー①にマスキングテープ⑱を貼り付け、アティチュードブラックマイカ〈218〉で塗装する。
※車両色がアティチュードブラックマイカ〈218〉の場合は、本作業は必要ありません。

図 47 ※LH図示 左右共通作業



□モールの貼り付け

図 48　※LH図示　左右共通作業



1. 図 48 のようにモール（イ型）⑮、モール（L型）⑯貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみPACプライマー（青袋）⑬を塗布する。

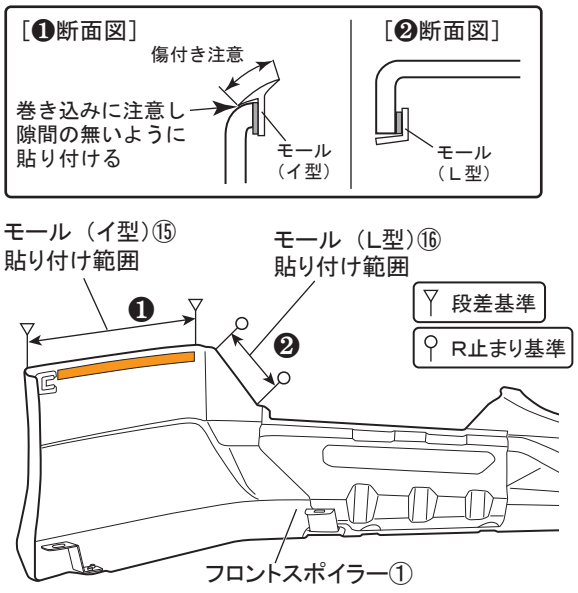
⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

⚠注意：PAC プライマー（青袋）はフロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

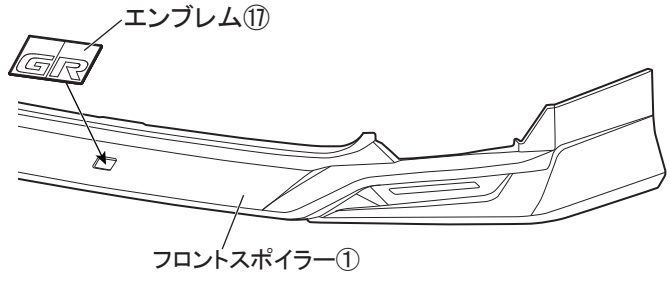
図 49　※LH図示　左右共通作業



2. 図 49 のようにモール（イ型）⑮、モール（L型）⑯の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。
モール（イ型）⑮、モール（L型）⑯長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

□エンブレムの貼り付け

図 50



1. 図 50 のようにフロントスポイラー①中央凹部の座面をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、エンブレム⑰を貼り付け圧着する。

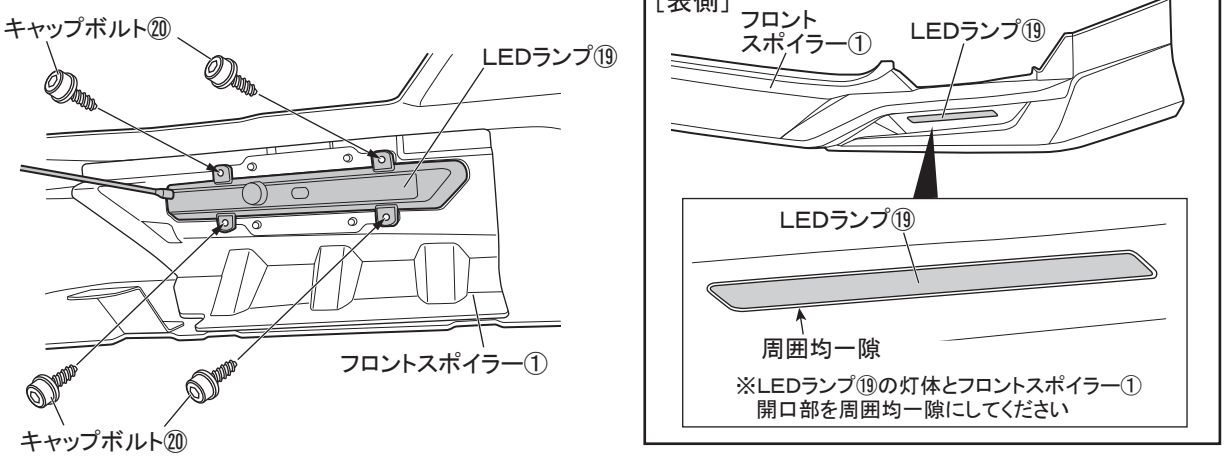
⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

□LEDランプの取り付け

1. 図 51 のようにフロントスポイラー①裏面にLEDランプ⑲をキャップボルト⑳で固定する。

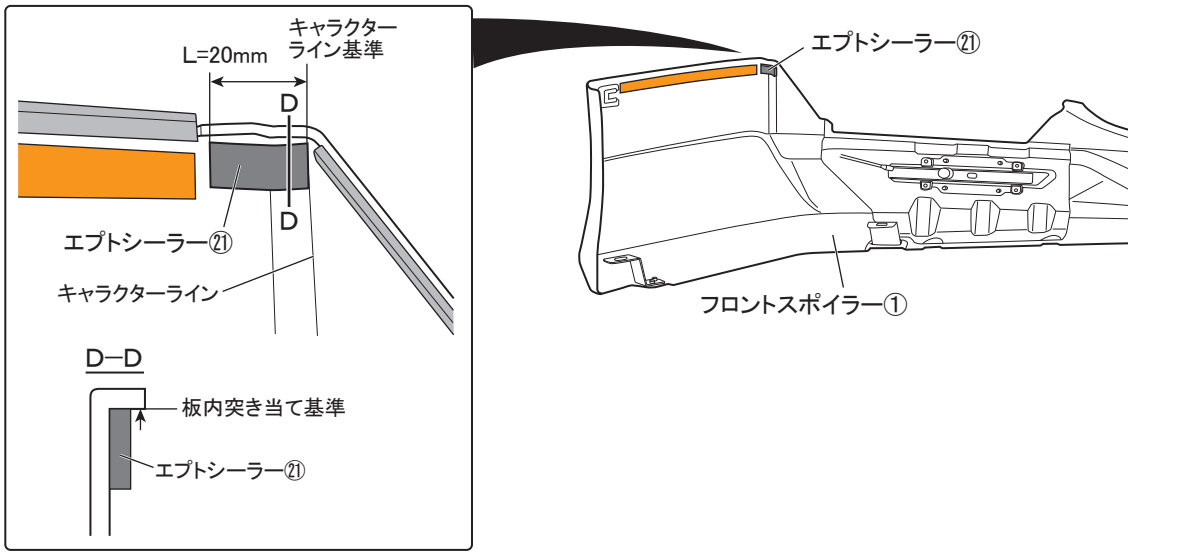
図 51 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



□エプトシーラーの貼り付け

1. 図 52 のようにフロントスポイラー①裏側にエプトシーラー㉑を貼り付ける。（左右各1箇所）
   その際、 貼り付け部をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 52 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



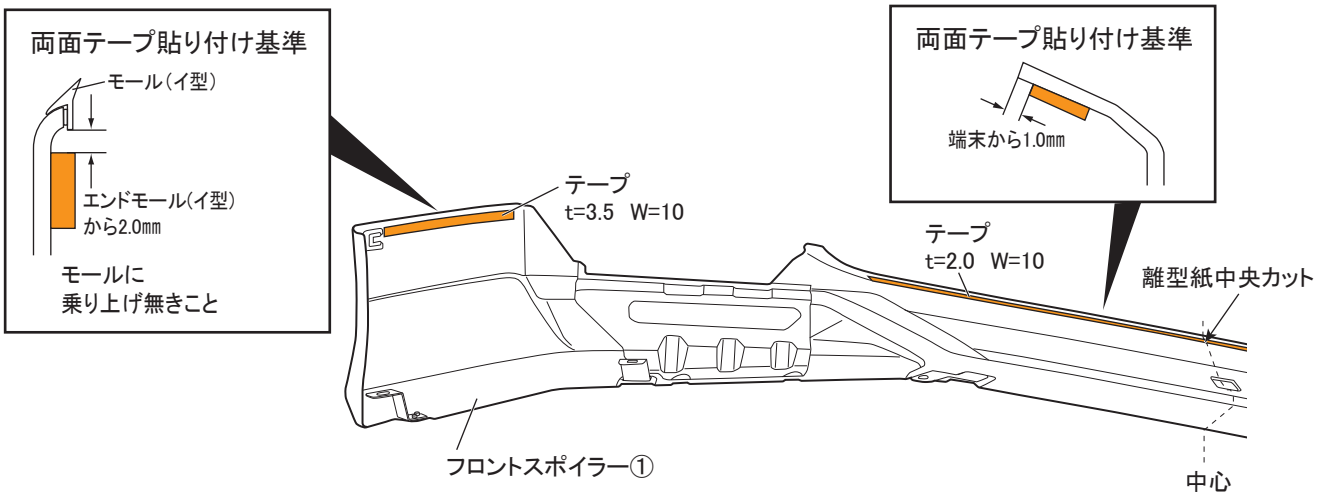
⚠注意 : 脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。
油脂分が残り、 テープが剥がれる原因になります。

アドバイス : 脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

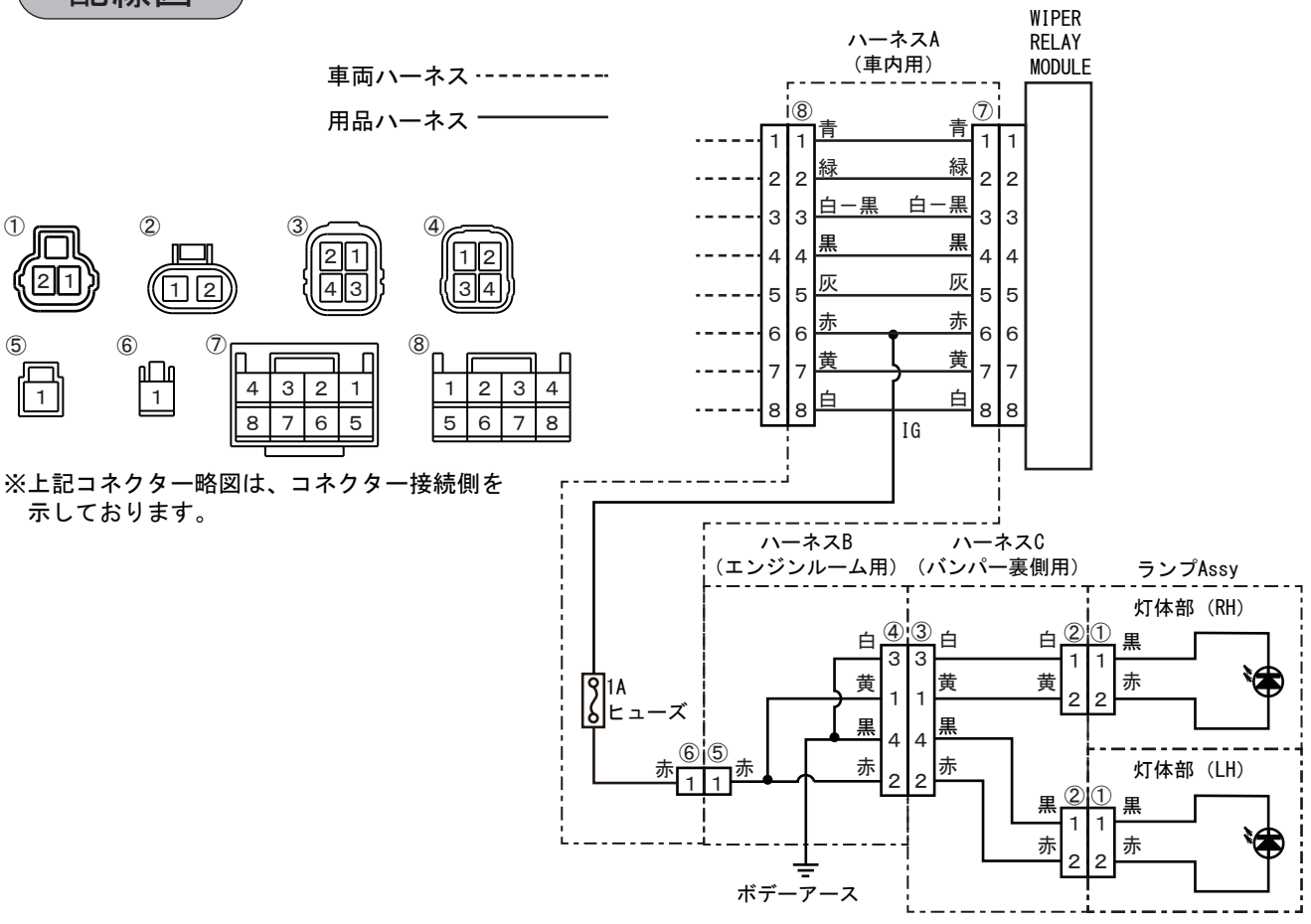
■ 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用してフロントスポイラー①の再取り付けを行なう際は、 下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。
   ※両面テープを貼り付ける際は、 貼り付け部を脱脂し、 プライマー（PAC プライマー K-500 相当）を塗布する。

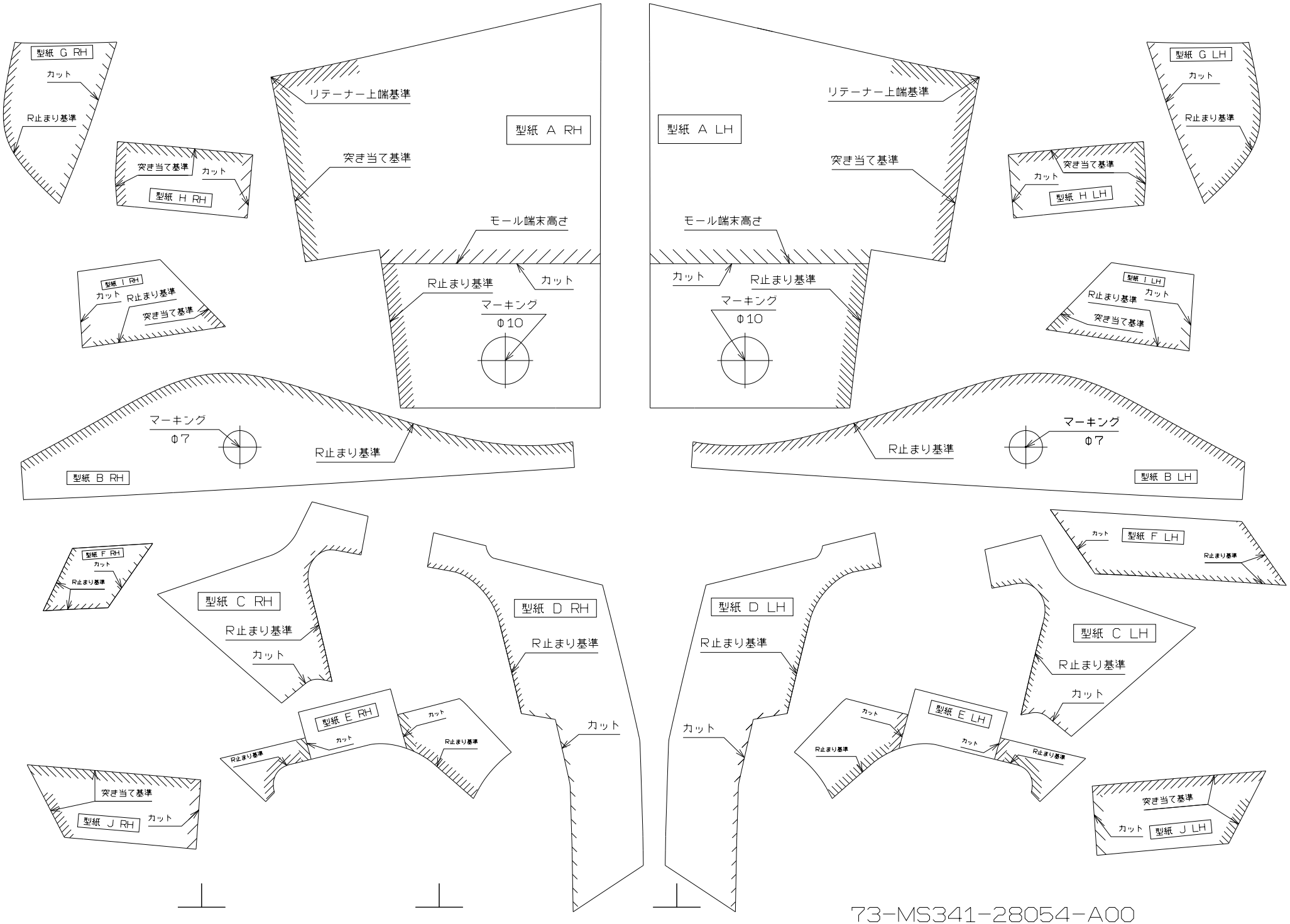
裏面視 ※LH図示 左右共通作業



配線図



株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
TRD 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/



73-MS341-28054-A00

脱脂作業要領書

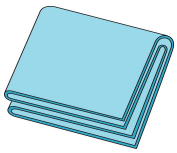
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約３分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約６分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約４分）
合計　約 13 分

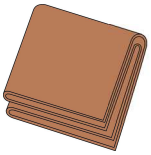
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等

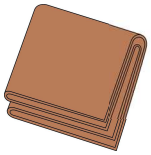
水拭き用バケツ


合成セーム皮

脱脂剤用
スプレーボトル

ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス

イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

１．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
２．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
３．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
４．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
５．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

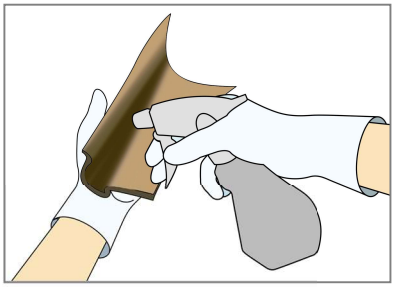
水拭き用バケツ

合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。

WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

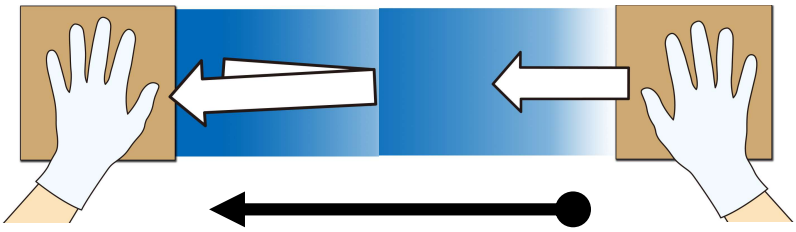


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

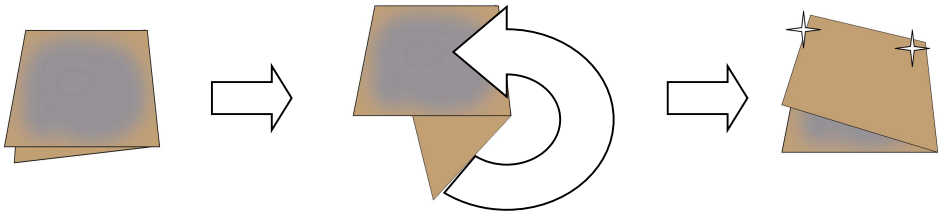
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。